

令和6年度決算 普通会計財政状況

令和7年9月



安芸高田市 企画部 財政課

決 算 の 状 況

令和6年度の決算では、経常収支比率が92.9%となり前年度から0.8ポイント上昇した。大型建設事業に係る地方債の償還終了により公債費が減少したが、人事院勧告により人件費、給食費無償化等により扶助費が増額したことが要因であると考えられる。

令和7年度の当初予算では、市の貯金である財政調整基金を取り崩して財源不足に対処しており、当初予算での財政調整基金の取り崩しは、4年連続となっている。さらに、地域振興基金や過疎地域持続的発展基金などのその他の特定目的基金も取り崩して対処している。

今後、人口減少等により普通交付税など、歳入の減少が見込まれる中、限りある基金を取り崩しての予算編成を続けては、いずれ市の財政運営は立ち行かなくなる。持続可能な財政運営のためには、事務事業の更なる見直し、公共施設やインフラの削減、受益者負担の適正化、市のコンパクト化など、人口減少に対応した行財政改革が急務である。

目 次

普通会計決算財政状況	1
普通会計歳入決算	2
普通会計歳入決算(グラフ)	3
普通会計性質別歳出決算	4
普通会計性質別歳出決算(グラフ)	5
普通会計目的別歳出決算	6
普通会計目的別歳出決算(グラフ)	7
普通会計財政指標等の推移	8
普通交付税決算（基準財政需要額及び基準財政収入額）	10
基金の状況（見込）調	11
基金残高の推移（見込）	12
会計別地方債現在高調書	13
普通会計地方債別現在高及び借入先別現在高	14

資料編

(1) 令和6年度会計別決算総括表	16
(2) 令和6年度会計別決算額	18
(3) 令和6年度一般会計歳入歳出決算額	19
(4) 令和6年度一般会計歳出節別決算額	20
令和6年度市町村普通会計決算カード	21
類似市等の普通会計財政状況（令和6年度決算数値）	25
主な財政用語	26

普通会計決算財政状況

(単位:千円)

区 分	元年度 決算	2年度 決算	3年度 決算	4年度 決算	5年度 決算	6年度 決算	前年度 比較
歳入総額	22,761,199	23,809,979	23,027,430	21,371,425	21,432,473	20,412,530	△ 1,019,943
歳出総額	22,170,609	22,993,800	21,792,642	20,438,072	20,803,166	19,892,783	△ 910,383
差引額	590,590	816,179	1,234,788	933,353	629,307	519,747	△ 109,560
翌年度繰越財源	338,692	283,119	305,754	204,056	105,434	61,527	△ 43,907
実質収支	251,898	533,060	929,034	729,297	523,873	458,220	△ 65,653
単年度収支	47,979	281,162	395,974	△ 199,737	△ 205,424	△ 65,653	139,771
財政調整基金 積立金	32,662	712	413	122	133	1,451	1,318
繰上償還 (任意分)	0	0	0	11,081	0	0	0
財政調整基金 取崩額	534,045	355,521	229,000	254,404	227,266	254,917	27,651
実質単年度収支	△ 453,404	△ 73,647	167,387	△ 442,938	△ 432,557	△ 319,119	113,438
基準財政需要額 (錯誤分を除く)	11,089,663	11,170,256	11,448,991	11,149,439	11,200,490	11,210,255	9,765
基準財政収入額	3,445,067	3,652,288	3,591,078	3,735,754	3,780,928	3,833,730	52,802
標準財政規模	12,374,140	12,490,514	12,828,308	12,206,023	12,223,693	12,214,123	△ 9,570
臨時財政対策債 発行可能額	433,270	397,872	482,470	124,919	58,815	28,118	△ 30,697
財政力指数	0.312	0.317	0.317	0.325	0.329	0.338	0.009
実質収支比率	2.0%	4.3%	7.2%	6.0%	4.3%	3.8%	△ 0.5%

※実質収支比率:実質収支/標準財政規模

※標準財政規模:標準税収入額+普通交付税+臨時財政対策債発行可能額

(単位:千円)

区 分	元年度 決算	2年度 決算	3年度 決算	4年度 決算	5年度 決算	6年度 決算	前年度 比較
經常収支比率	98.2%	92.8%	88.6%	94.4%	92.1%	92.9%	0.8%
実質公債費比率	13.8%	12.9%	12.3%	11.6%	10.9%	10.0%	△ 0.9%
実質赤字比率	-	-	-	-	-	-	-
連結赤字比率	-	-	-	-	-	-	-
将来負担比率	94.1%	94.7%	83.9%	74.5%	62.9%	55.1%	△ 7.8%
資金不足比率	-	-	-	-	-	-	-
積立金現在高	6,980,736	6,678,174	6,866,837	7,098,690	7,504,515	7,337,372	△ 167,143
うち 財政調整基金	828,453	603,644	675,057	920,775	1,093,642	1,140,176	46,534
うち 減債基金	310,932	311,174	443,582	443,881	500,767	544,637	43,870
普通建設事業費	2,909,446	1,540,096	1,907,388	1,195,527	1,534,188	1,339,595	△ 194,593
地方債現在高	25,322,235	23,800,065	22,992,944	21,409,859	20,137,742	18,552,078	△ 1,585,664
地方債残高比率	204.6%	190.5%	179.2%	175.4%	164.7%	151.9%	△12.8%
地方債借入額	2,262,300	1,295,000	2,020,800	1,137,800	1,237,000	777,000	△ 460,000
地方債 元利償還金	3,280,799	2,957,205	2,934,646	2,805,201	2,585,204	2,437,874	△ 147,330
翌年度以降 債務負担額	1,170,960	1,435,216	2,239,879	1,949,579	2,560,335	2,510,274	△ 50,061

普通会計とは、地方財政状況調査(決算統計)において、統計上の比較を可能とするために用いられる会計区分で、「一般会計」と「公営事業会計を除く特別会計」を整理したものである。
本市における普通会計とは、「一般会計」と「コミュニティ・プラント整備事業特別会計」を整理したものである。

普通会計歳入決算

(単位:千円、%)

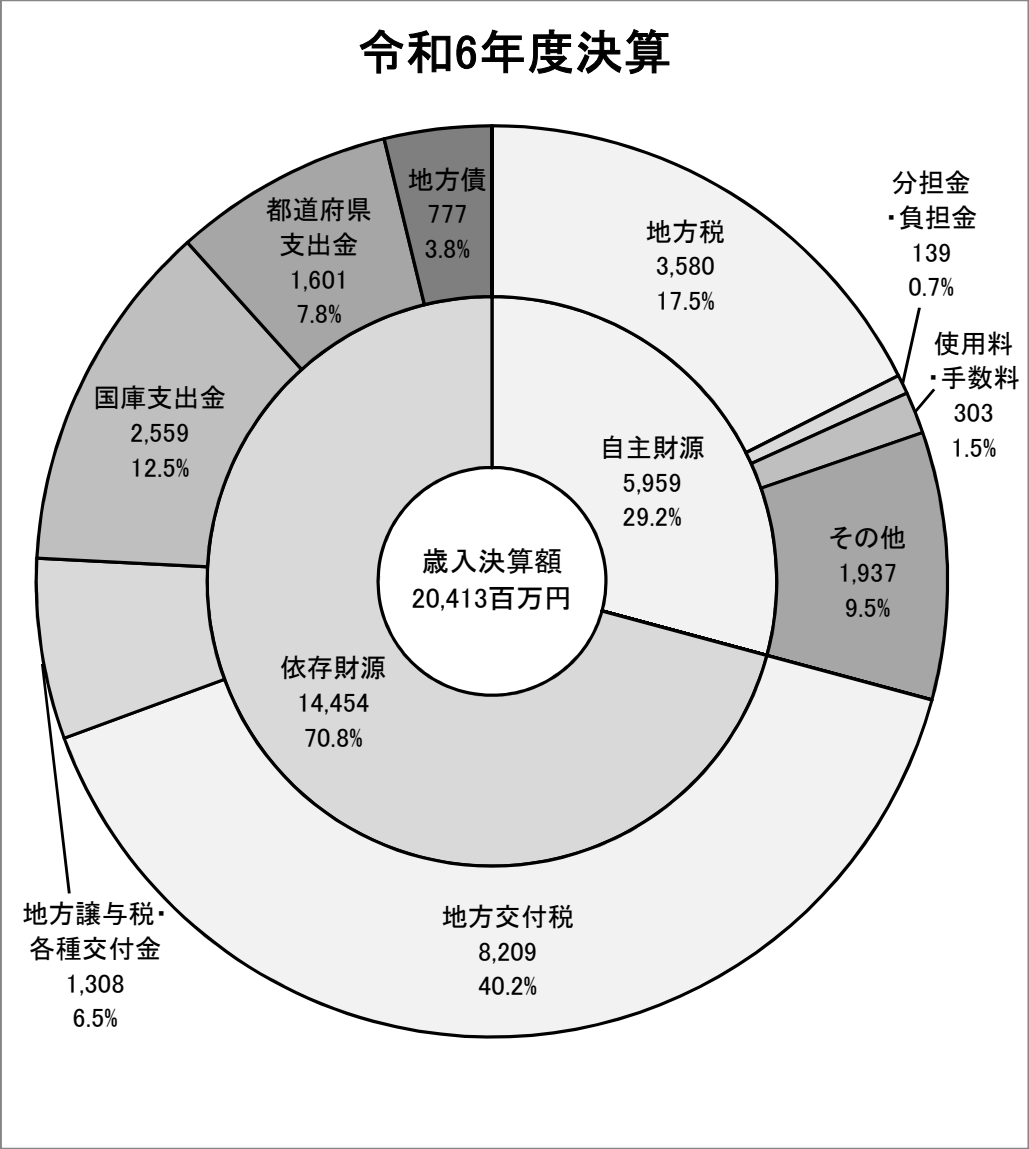
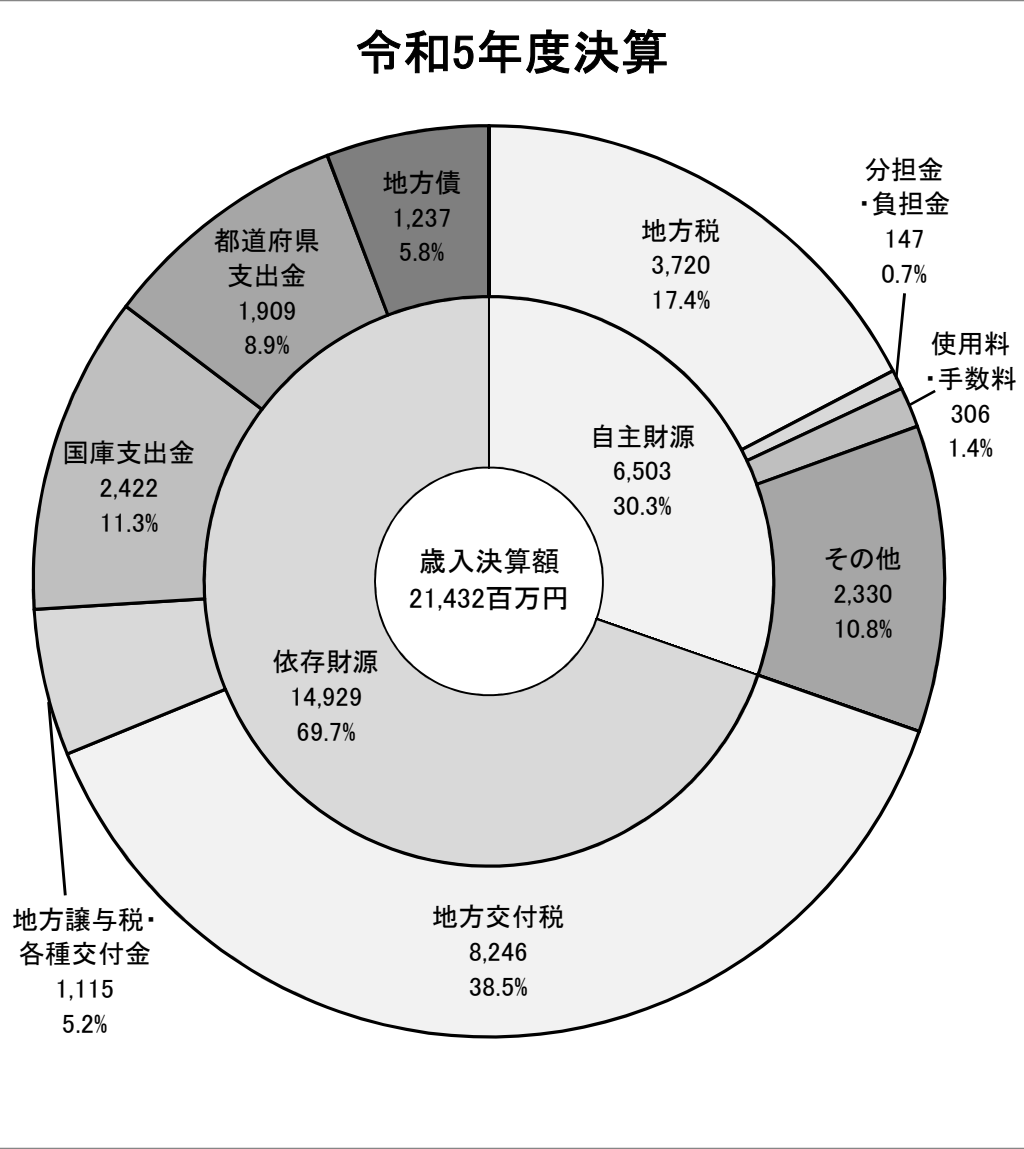
区 分	令和5年度		令和6年度		前年度比較		主な増減理由等
	決算額	構成比	決算額	構成比	決算額	増減率	
地 方 税	3,720,130	17.4	3,579,751	17.5	△ 140,379	△ 3.8	
個人市民税	1,089,167	5.1	1,021,621	5.0	△ 67,546	△ 6.2	所得割 △66,870千円、個人(滞納繰越分) △676千円
法人市民税	227,307	1.1	208,616	1.0	△ 18,691	△ 8.2	法人税割 △19,313千円、法人均等割 +513千円
固定資産税	2,054,710	9.6	2,008,026	9.8	△ 46,684	△ 2.3	償却資産 △33,078千円、土地 △11,522千円、固定資産税(滞納繰越分) △2,180千円
軽自動車税	132,603	0.6	132,935	0.7	332	0.3	種別割(現年課税分) +328千円
たばこ税	209,108	1.0	201,547	1.0	△ 7,561	△ 3.6	たばこの売上減による
入湯税	7,235	0.0	7,006	0.0	△ 229	△ 3.2	利用者の減による
地方譲与税	242,899	1.1	258,406	1.3	15,507	6.4	森林環境譲与税 +16,418千円、地方揮発油譲与税 △778千円
利子割交付金	1,347	0.0	1,709	0.0	362	26.9	
配当割交付金	17,343	0.1	25,033	0.1	7,690	44.3	
株式等譲渡所得割交付金	19,045	0.1	32,291	0.2	13,246	69.6	
地方消費税交付金	670,902	3.1	709,982	3.5	39,080	5.8	
ゴルフ場利用税交付金	25,544	0.1	21,591	0.1	△ 3,953	△ 15.5	
自動車取得税交付金	2,709	0.0	0	0.0	△ 2,709	△ 100.0	
環境性能割交付金	31,384	0.1	36,352	0.2	4,968	15.8	
法人事業税交付金	71,692	0.3	87,080	0.4	15,388	21.5	
地方特例交付金	30,125	0.1	133,116	0.7	102,991	341.9	定額減税減収補てん特例交付金 +105,376千円
地方交付税	8,246,349	38.5	8,208,981	40.2	△ 37,368	△ 0.5	
普通交付税	7,419,562	34.6	7,376,525	36.1	△ 43,037	△ 0.6	
特別交付税	826,787	3.9	832,456	4.1	5,669	0.7	
小 計	13,079,469	60.9	13,094,292	64.2	14,823	0.1	
交通安全対策特別交付金	2,384	0.0	2,220	0.0	△ 164	△ 6.9	
分担金及び負担金	146,846	0.7	138,872	0.7	△ 7,974	△ 5.4	人事交流負担金 △6,535千円、農地災害復旧費分担金 △3,179千円、老人保護措置費負担金 +2,642千円
使 用 料	226,846	1.1	217,314	1.1	△ 9,532	△ 4.2	市有住宅使用料 △7,996千円、保育所保護者負担金(現年度分) △1,946千円
手 数 料	78,959	0.4	85,935	0.4	6,976	8.8	し尿処理手数料(現年度分) +11,179千円、戸籍手数料 △3,410千円、危険物許可事務等手数料 △407千円
国庫支出金	2,421,943	11.3	2,558,519	12.5	136,576	5.6	物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金 +296,875千円、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 △245,363千円、公立学校施設整備費補助金 +73,158千円、児童手当費負担金 +41,800千円
都道府県支出金	1,908,974	8.9	1,600,957	7.8	△ 308,017	△ 16.1	農地災害復旧費補助金 △175,296千円、農業用施設災害復旧費補助金 △85,037千円、地域医療介護総合確保事業補助金 △63,785千円
財産収入	89,901	0.4	76,766	0.4	△ 13,135	△ 14.6	不動産売却収入 △20,519千円、基金利子 +4,816千円、財産貸付収入 +1,491千円
寄 附 金	509,496	2.4	163,795	0.8	△ 345,701	△ 67.9	ふるさと納税制度寄附金 △301,421千円、企業版ふるさと納税 △18,710千円、指定寄附金 △17,464千円
繰 入 金	1,003,634	4.7	1,042,041	5.1	38,407	3.8	過疎地域持続的発展基金繰入金 +116,048千円、サッカー公園管理運営基金繰入金 △58,158千円、地域振興基金繰入金 △51,779千円
繰 越 金	533,353	2.5	329,307	1.6	△ 204,046	△ 38.3	
諸 収 入	193,668	0.9	325,512	1.6	131,844	68.1	デジタル基盤改革支援補助金 +125,176千円、学校給食費収入 +26,674千円、スポーツ振興くじ助成金 △24,000千円
地 方 債	1,237,000	5.8	777,000	3.8	△ 460,000	△ 37.2	消防債 △298,700千円、民生債 △45,900千円、教育債 △41,700千円、臨時財政対策債 △30,700千円
合 計	21,432,473	100.0	20,412,530	100.0	△ 1,019,943	△ 4.8	
うち経常一般財源 (臨財債含み)	12,266,198 (12,324,998)	57.3 57.5	12,275,904 (12,304,004)	60.1 60.3	9,706 (△ 20,994)	0.1 △ 0.2	←経常収支比率算定の分母となる数値。

※構成比は単純比較のため、合計が必ずしも100とならない場合がある。

普通会計歳入決算(グラフ)

(単位:百万円、%)

(単位:百万円、%)



普通会計性質別歳出決算

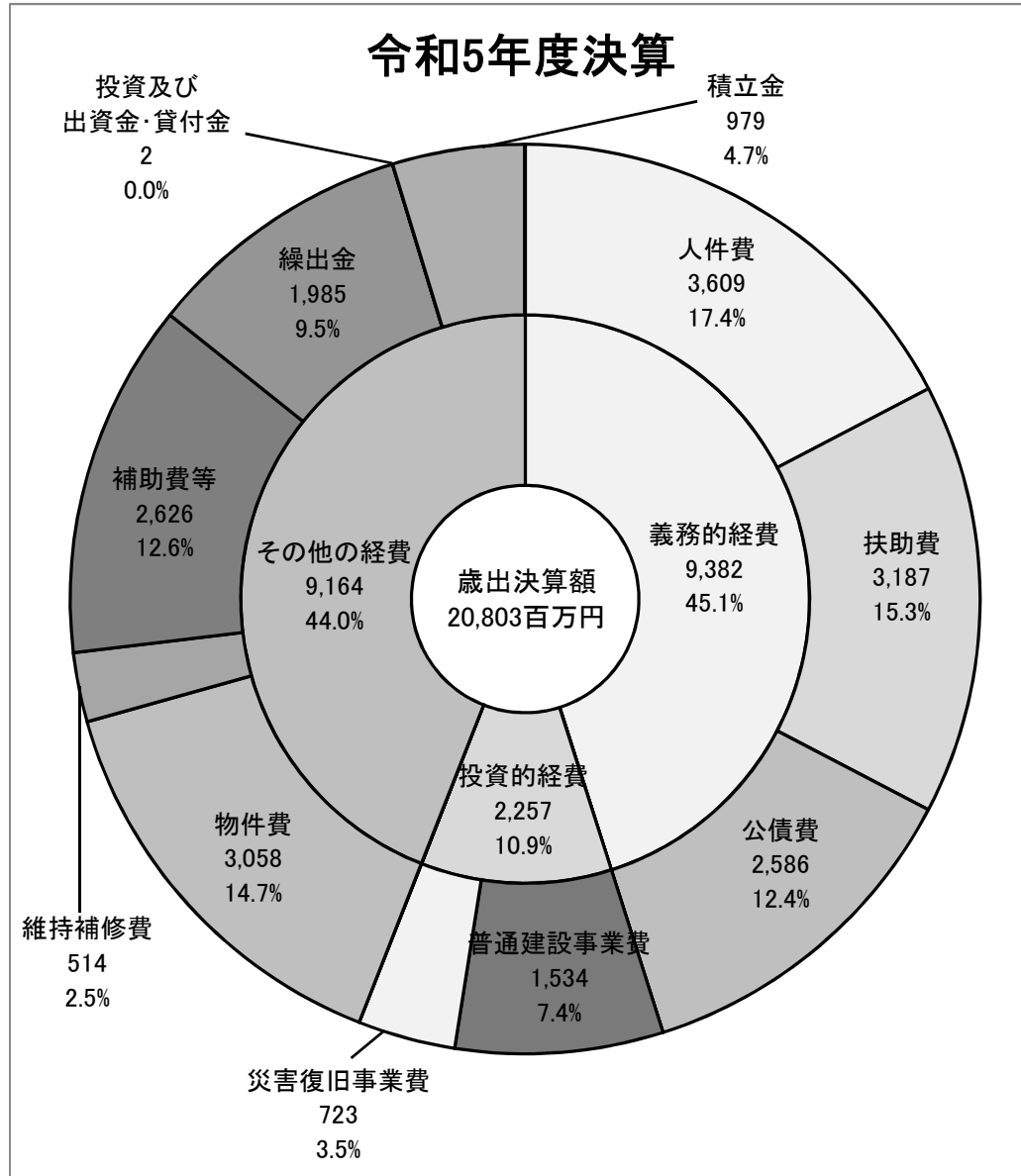
(単位:千円、%)

区 分	令和5年度				令和6年度				前年度比較				主な増減理由等
	決算額	構成比	うち経常一般財源充当額	経常収支比率	決算額	構成比	うち経常一般財源充当額	経常収支比率	決算額	増減率	経常一般財源充当額	経常収支比率	
義務的経費	9,381,536	45.1	6,416,950	52.1	9,534,949	47.9	6,548,790	53.2	153,413	1.6	131,840	1.1	
人件費	3,608,645	17.4	3,143,910	25.5	3,764,242	18.9	3,278,971	26.6	155,597	4.3	135,061	1.1	一般職員人件費 +63,047千円、会計年度任用職員(勤勉手当) +52,955千円
うち職員給	2,190,936	10.5	1,895,996	15.4	2,242,786	11.3	1,959,706	15.9	51,850	2.4	63,710	0.5	選挙費 +26,406千円、常備消防費 +18,149千円、総務一般管理費 +7,093千円
扶助費	3,187,324	15.3	705,068	5.7	3,332,013	16.7	838,744	6.8	144,689	4.5	133,676	1.1	給食センター運営事業費 +124,587千円、価格高騰重点支援給付事業費 △98,325千円、私立保育園費 +44,376千円
公債費	2,585,567	12.4	2,567,972	20.8	2,438,694	12.3	2,431,075	19.8	△ 146,873	△ 5.7	△ 136,897	△ 1.0	元金 △146,453千円、利子 △420千円
元利償還金	2,585,204	12.4	2,567,609	20.8	2,437,874	12.3	2,430,255	19.8	△ 147,330	△ 5.7	△ 137,354	△ 1.0	
一時借入金	363	0.0	363	0.0	820	0.0	820	0.0	457	125.9	457	0.0	
その他の経費	9,163,967	44.2	4,929,627	40.0	8,593,334	43.2	4,884,298	39.7	△ 570,633	△ 6.2	△ 45,329	△ 0.3	
物件費	3,058,225	14.7	1,979,505	16.1	3,005,951	15.1	1,987,271	16.1	△ 52,274	△ 1.7	7,766	0.0	ふるさと応援寄附推進事業費 △133,793千円、予防接種事業費 +51,527千円、戸籍住民基本台帳費 +22,147千円
維持補修費	513,556	2.5	325,610	2.6	622,792	3.1	425,415	3.5	109,236	21.3	99,805	0.9	市道道路維持費 +60,831千円、県委託県道道路維持費 +55,578千円
補助費等	2,625,832	12.6	1,206,540	9.8	2,916,050	14.7	1,240,775	10.1	290,218	11.1	34,235	0.3	下水道事業会計事業費 +394,484千円、商工業振興事業費 △102,826千円
繰出金	1,985,191	9.5	1,417,972	11.5	1,510,775	7.6	1,230,837	10.0	△ 474,416	△ 23.9	△ 187,135	△ 1.5	農業集落排水事業特別会計繰出金 △275,013千円、浄化槽整備事業特別会計繰出金 △129,560千円、後期高齢者医療事業費 △43,688千円
投資及び出資金・貸付金	2,196	0.0	0	0.0	2,508	0.0	0	0.0	312	14.2	0	0.0	就学援助事業費 +312千円
積立金	978,967	4.7	0	0.0	535,258	2.7	0	0.0	△ 443,709	△ 45.3	0	0.0	ふるさと応援基金 △282,048千円、公共施設管理運営基金 △175,544千円
経常収支比率			11,346,577	92.1			11,433,088	92.9			86,511	0.8	
投資的経費	2,257,663	10.9			1,764,500	8.9			△ 493,163	△ 21.8			
うち人件費	2,297	0.0			657	0.0			△ 1,640	△ 71.4			給料 △1,640千円
うち普通建設事業費	1,534,188	7.4	投資的経費の内一般財源充当額 239,211		1,339,595	6.7	投資的経費の内一般財源充当額 235,930		△ 194,593	△ 12.7	投資的経費の内一般財源充当額 △ 3,281		
うち補助事業	350,941	1.7			491,841	2.5			140,900	40.1			電算システム事業費 +125,176千円、小学校施設・設備等管理整備事業費 +97,908千円、放課後児童クラブ運営費 +54,967千円
うち単独事業	1,110,128	5.4			783,485	3.9			△ 326,643	△ 29.4			指令施設管理費 △342,540千円、観光振興施設管理運営費(政策企画課所管) △245,572千円、電算システム事業費 +73,197千円
うち災害復旧事業費	723,475	3.5			424,905	2.2			△ 298,570	△ 41.3			農地災害復旧費 △154,202千円、農業用施設災害復旧費 △96,198千円、土木施設災害復旧費 △30,751千円
合 計	20,803,166	100.0			19,892,783	100.0			△ 910,383	△ 4.4			

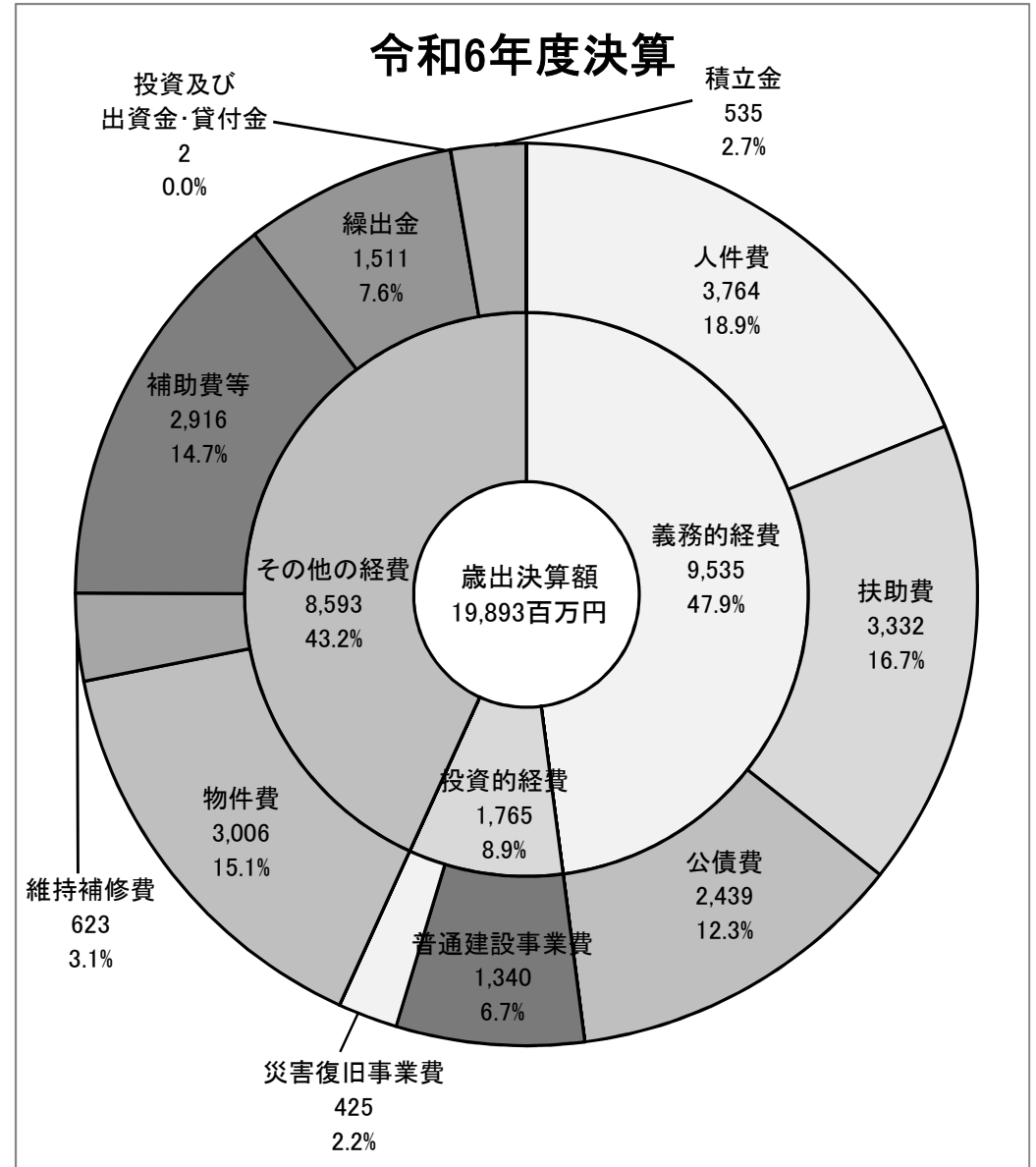
※構成比は単純比較のため、合計が必ずしも100とならない場合がある。(経常収支比率も同様に費目別に比率を算出しているので合計と合致しない場合がある。)

普通会計性質別歳出決算(グラフ)

(単位:百万円、%)



(単位:百万円、%)



普通会計目的別歳出決算

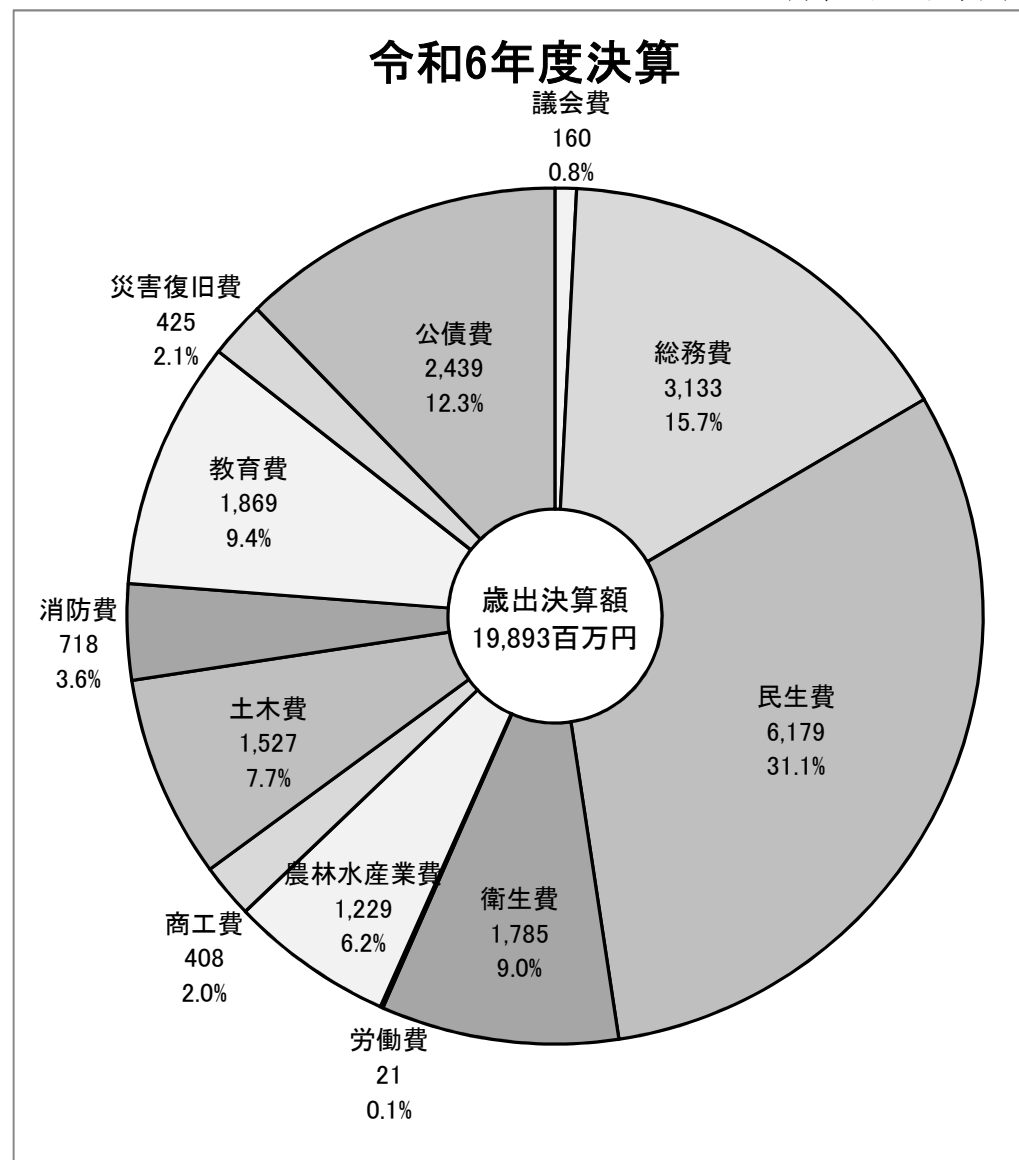
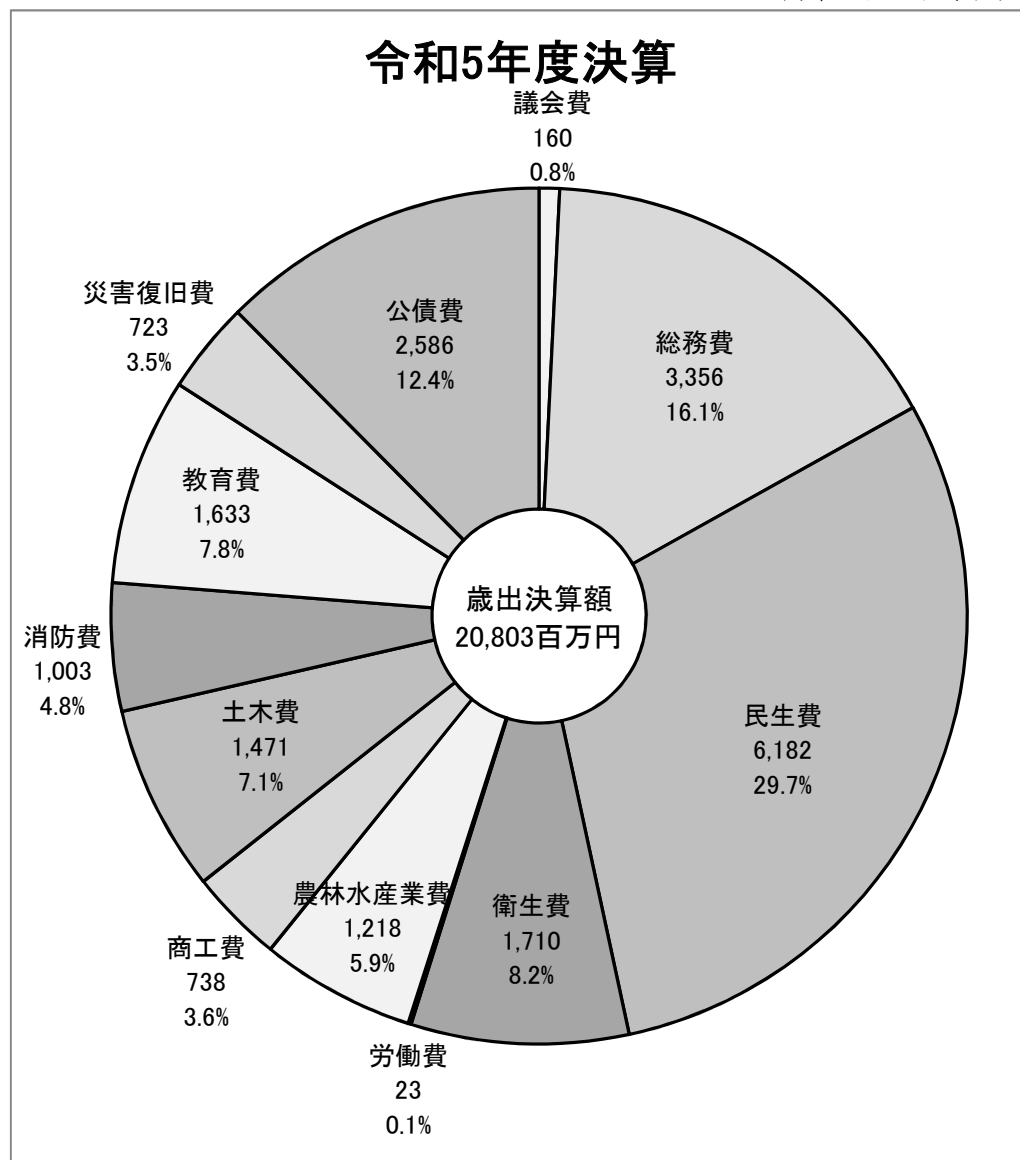
区 分	令和5年度			令和6年度			前年度比較		摘 要（主な増減理由等）
	決算額	構成比	うち一般財源 充当額	決算額	構成比	うち一般財源 充当額	決算額	増減率	
議会費	千円 160,262	% 0.8	千円 160,256	千円 159,624	% 0.8	千円 159,622	千円 △ 638	% △ 0.4	議員人件費 △3,534千円、一般職員人件費 +1,729千円、議会運営事業費 +1,289千円
総務費	3,355,825	16.1	2,421,246	3,132,755	15.7	2,252,130	△ 223,070	△ 6.6	ふるさと応援基金 △282,048千円、電算システム事業費 +222,255千円、公共施設管理運営基金 △175,544千円
民生費	6,182,497	29.7	3,618,329	6,178,778	31.1	3,557,734	△ 3,719	△ 0.1	価格高騰重点支援給付事業費 △95,164千円、介護保険事業費 △63,829千円、障害者自立支援訓練等給付事業費 +59,934千円、放課後児童クラブ運営費 +58,489千円
衛生費	1,710,510	8.2	1,340,104	1,784,807	9.0	1,465,038	74,297	4.3	下水道事業会計事業費 +57,630千円、水道事業費 +25,888千円、診療所運営費 △13,484千円
労働費	23,002	0.1	23,002	21,279	0.1	21,279	△ 1,723	△ 7.5	在宅福祉事業費 △1,723千円
農林水産業費	1,217,870	5.9	750,448	1,229,435	6.2	837,862	11,565	1.0	畜産振興事業費 +43,831千円、ほ場整備事業費 △23,023千円、担い手育成事業費 △20,388千円、森林環境譲与税基金 +18,985千円
商工費	737,794	3.6	357,301	408,030	2.0	329,661	△ 329,764	△ 44.7	観光振興施設管理運営費(政策企画課所管) △235,789千円、商工業振興事業費 △100,402千円、企業立地推進事業費 +4,444千円
土木費	1,470,784	7.1	894,838	1,526,725	7.7	928,732	55,941	3.8	市道道路維持費 +106,092千円、下水道事業会計事業費 △62,053千円、県委託県道道路維持費 +55,525千円、住宅建設費 △55,513千円
消防費	1,002,617	4.8	593,224	718,606	3.6	627,561	△ 284,011	△ 28.3	指令施設管理費 △345,151千円、消防活動管理費 +42,813千円、一般職員人件費 +24,759千円
教育費	1,632,963	7.8	1,235,412	1,869,145	9.4	1,355,489	236,182	14.5	給食センター運営事業費 +143,636千円、小学校施設・設備等管理整備事業費 +97,456千円
災害復旧費	723,475	3.5	82,487	424,905	2.1	15,644	△ 298,570	△ 41.3	農林業災害復旧費 △267,819千円、土木施設災害復旧費 △30,751千円
公債費	2,585,567	12.4	2,567,972	2,438,694	12.3	2,431,075	△ 146,873	△ 5.7	元金 △146,453千円、利子 △420千円
合 計	20,803,166	100.0	14,044,619	19,892,783	100.0	13,981,827	△ 910,383	△ 4.4	

※構成比は単純比較のため、合計が必ずしも100とならない場合がある。

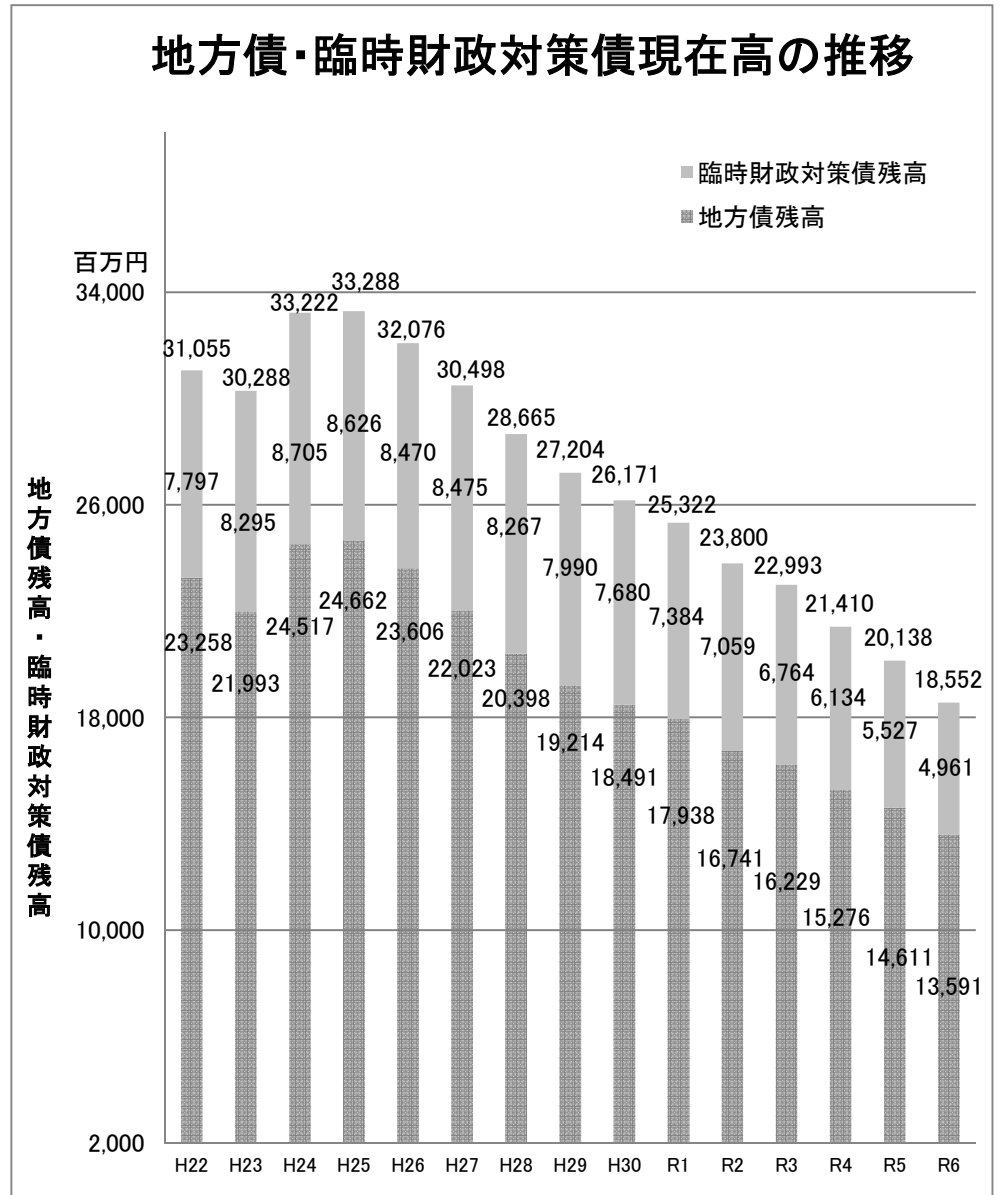
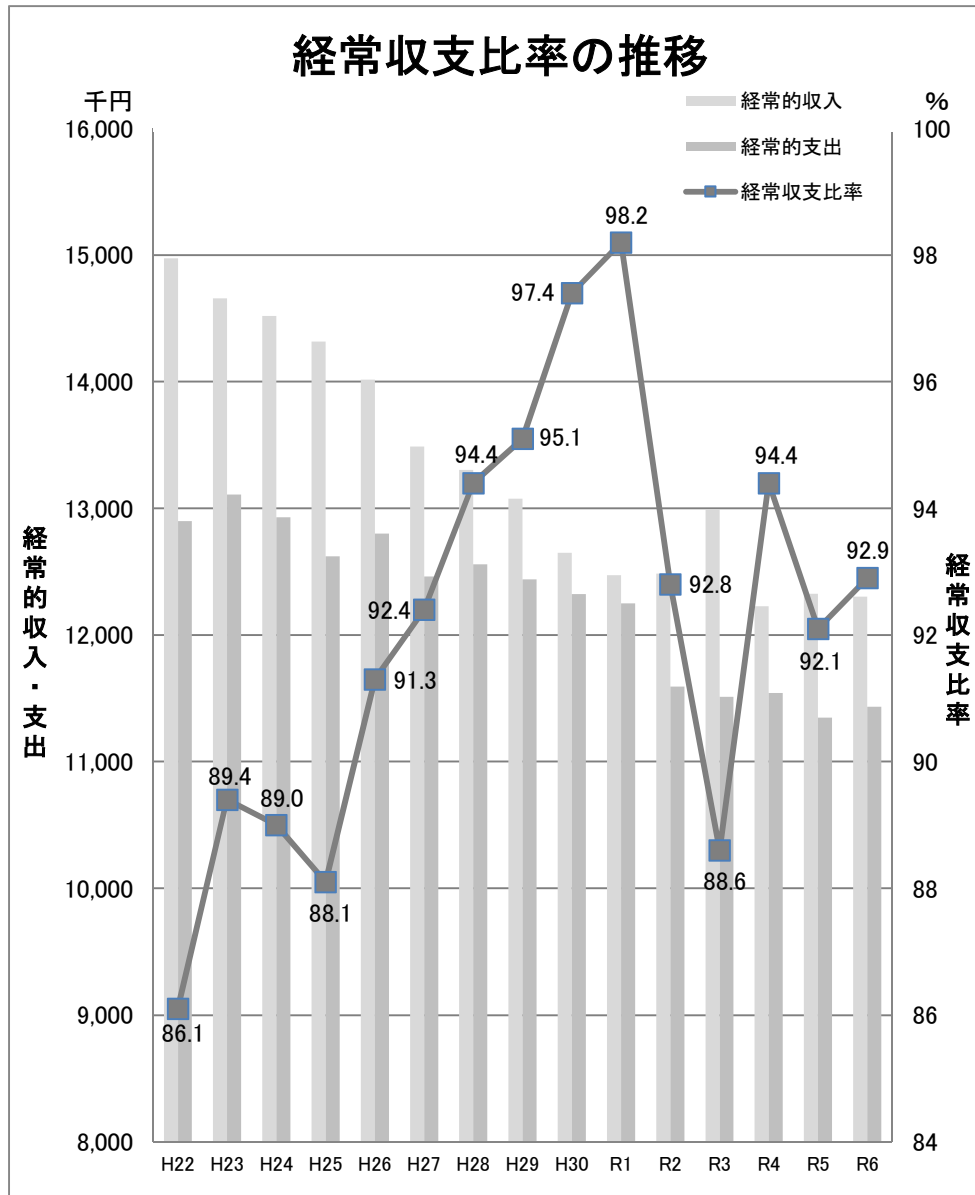
普通会計目的別歳出決算(グラフ)

(単位:百万円、%)

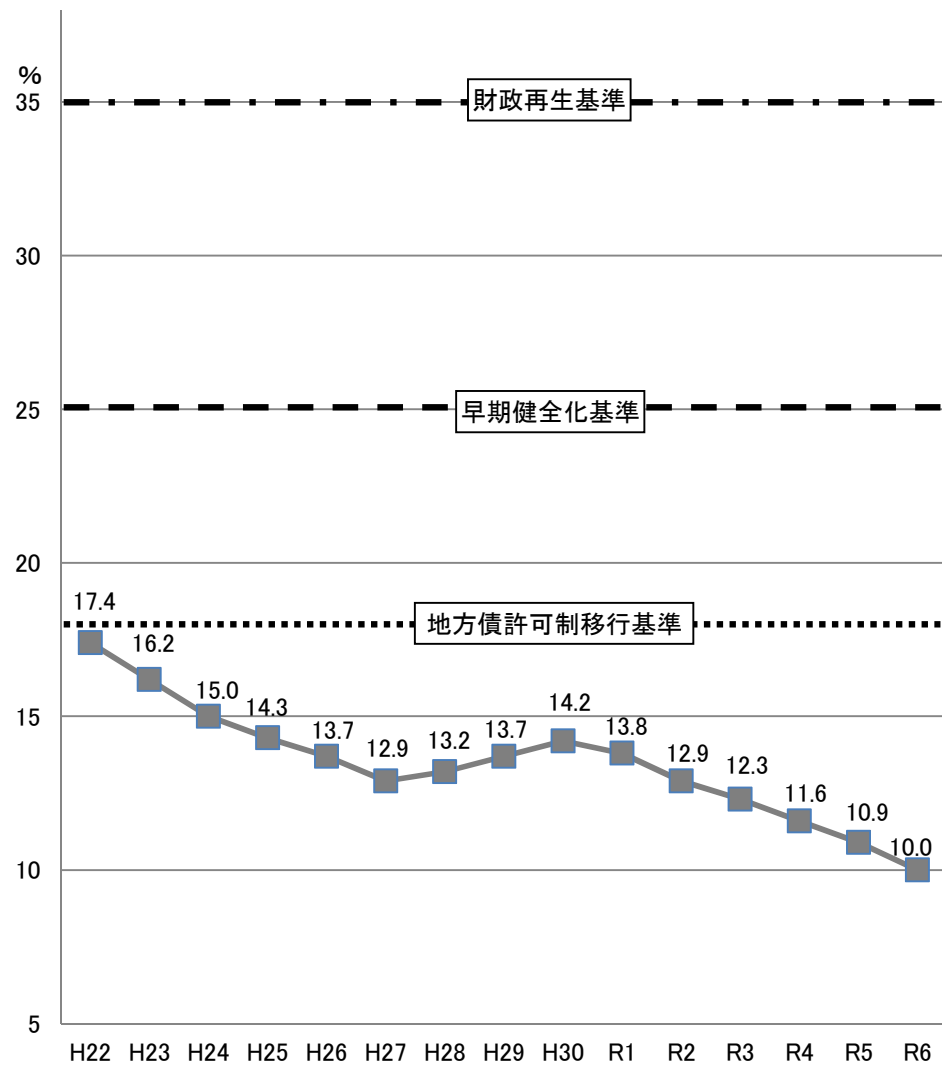
(単位:百万円、%)



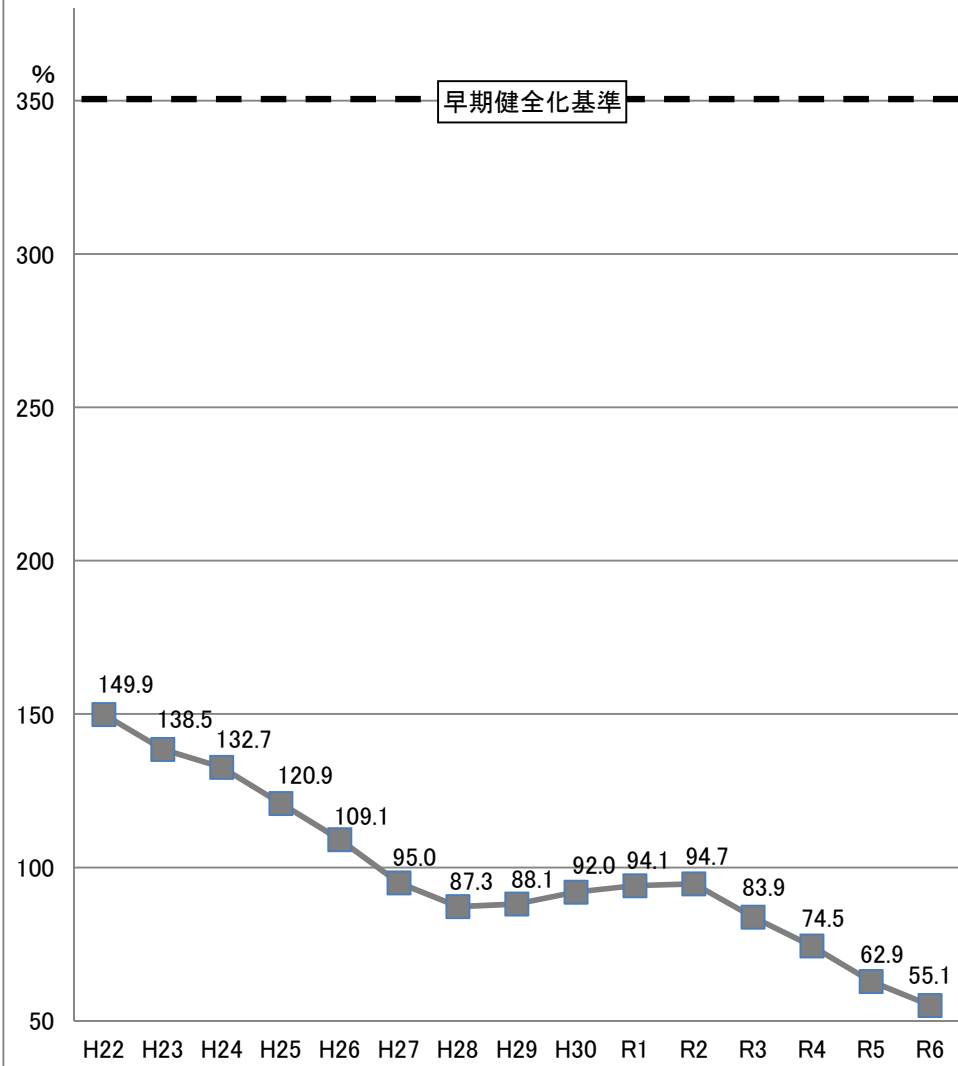
普通会計財政指標等の推移



実質公債費比率の推移



将来負担比率の推移

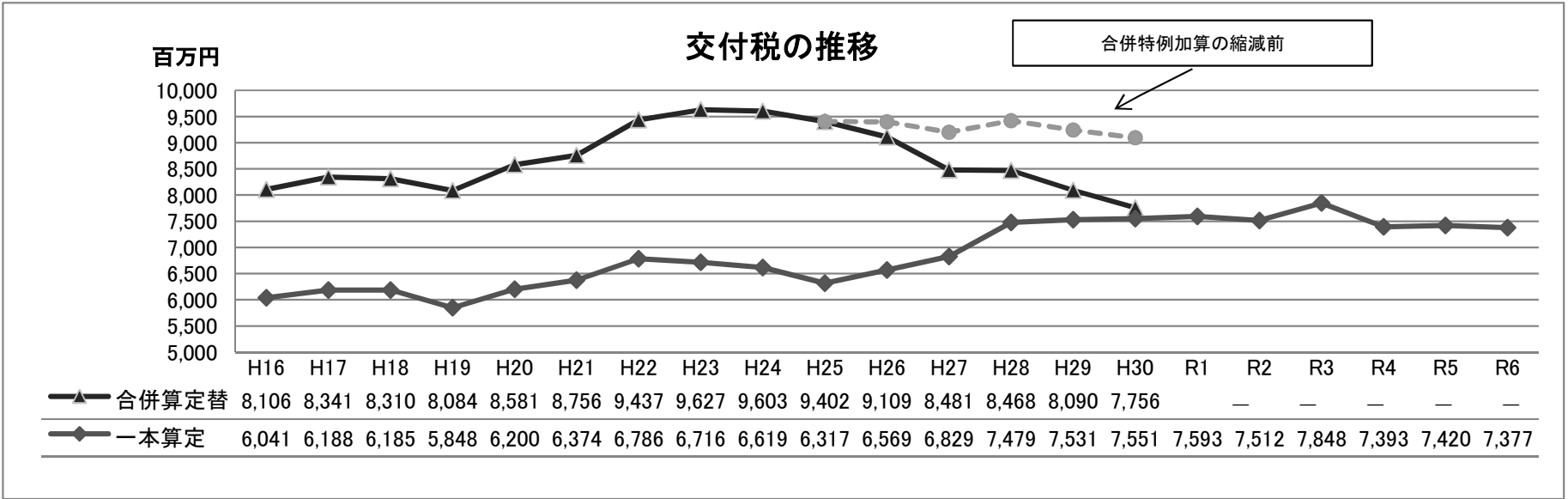


普通交付税決算(基準財政需要額及び基準財政収入額)

(単位:千円)

区 分	合 併 算 定 替				一本算定						前年度比較
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
個別算定(A)	8,853,219	8,796,727	8,597,928	8,624,745	7,996,101	8,228,308	8,628,373	8,120,333	8,136,914	8,163,889	26,975
包括算定(B)	2,174,601	2,072,774	2,009,846	1,919,180	1,014,825	1,051,559	1,067,138	1,007,280	1,041,407	1,067,988	26,581
公債費 (C)	2,234,257	2,417,386	2,577,479	2,524,959	2,512,007	2,288,261	2,235,950	2,146,745	2,080,984	2,006,496	△ 74,488
臨時財政対策債 振替相当額(D)	682,899	543,679	547,906	521,595	433,270	397,872	482,470	124,919	58,815	28,118	△ 30,697
基準財政需要額(ア) =(A+B+C-D)	12,579,178	12,743,208	12,637,347	12,547,289	11,089,663	11,170,256	11,448,991	11,149,439	11,200,490	11,210,255	9,765
基準財政収入額(イ)	3,385,124	3,388,420	3,402,614	3,453,439	3,445,067	3,652,288	3,591,078	3,735,754	3,780,928	3,833,730	52,802
錯誤措置額(ウ)	7,095	64,642	4,670		△ 42,130		△ 9,651	△ 20,708			
交付基準額 (エ) =(ア) - (イ) + (ウ)	9,201,149	9,419,430	9,239,403	9,093,850	7,602,466	7,517,968	7,848,262	7,392,977	7,419,562	7,376,525	△ 43,037
調整額 (オ)		△ 9,760	△ 9,074		△ 9,719	△ 5,707					
合併特例加算の縮減額 (カ)	△ 719,948	△ 941,283	△ 1,140,208	△ 1,337,566							
交付額 =(エ) + (オ) + (カ)	8,481,201	8,468,387	8,090,121	7,756,284	7,592,747	7,512,261	7,848,262	7,392,977	7,419,562	7,376,525	△ 43,037

※平成30年度まで合併特例加算措置があり、合併算定替により算定される。一本算定は合併特例加算がない場合の算定額。
※調整額とは、普通交付税の予算総額が財源不足団体の財源不足総額に満たない場合に、財源不足総額を予算総額に合わせるために用いるもの。
財源不足総額から普通交付税の予算総額を差し引いた調整額を、財源不足団体の基準財政需要額の総額で割って算出する。



基金の状況(見込)調

(単位:千円)

基 金 名		30年度末 現在高	元年度末 現在高	2年度末 現在高	3年度末 現在高	4年度末 現在高	5年度末 現在高	5年度歳計 剰余金積立	令和6年度 積立・取崩額			令和6年度末 現在高
									元金積立	利子積立	基金取崩	
一 般 会 計 所 管	財政調整基金	1,219,836	828,453	603,644	675,057	920,775	1,093,642	300,000		1,451	254,917	1,140,176
	減債基金	640,402	310,932	311,174	443,582	443,881	500,767		71,589	574	28,293	544,637
	小 計	1,860,238	1,139,385	914,818	1,118,639	1,364,656	1,594,409	300,000	71,589	2,025	283,210	1,684,813
	その他の特定目的基金											
	地域福祉基金	231,255	427,316	424,616	422,200	422,200	377,441			464	48,112	329,793
	ふるさと水と土の保全基金	19,484	19,500	19,516	19,529	19,542	19,555			13		19,568
	地域振興基金	3,385,889	3,306,636	3,260,446	3,131,117	2,937,725	2,867,494			2,578	19,580	2,850,492
	サッカー公園管理運営基金	115,973	115,789	120,878	125,960	131,045	77,976		5,000	51		83,027
	美土里町神楽門前湯治村育成基金	2,100	4,402	5,717	7,514	9,791	12,106		2,188	7		14,301
	たかみや湯の森管理基金	86,977	92,011	95,409	53,296	57,541	62,507		4,818	41		67,366
	消防施設整備基金	34,114	32,973	31,805	31,827	62,848	93,891		31,000	61		124,952
	清流園施設改修基金	53,803	53,848	53,889	53,926	53,962	20,287			13	20,300	
	ふるさと応援基金	92,490	294,160	268,178	355,926	387,710	514,297		154,954	627	343,443	326,435
	市有住宅管理運営基金	252,540	292,138	302,541	339,430	380,003	397,355		20,623	259		418,237
	農業後継者育成支援基金	29,051	28,696	28,237	28,256	28,275	28,294			18		28,312
	過疎地域持続的発展基金	1,028,303	894,696	857,247	875,589	919,827	930,416		159,600	1,263	274,956	816,323
	定住対策支援基金	25,103	22,849	20,957	18,696	16,959	16,446			10	700	15,756
	光ネットワーク設備管理運営基金	185,312	174,639	170,575	165,584	165,696	156,181			102		156,283
	公共施設管理運営基金	12,331	15,601	18,914	22,027	17,566	196,067		2,830	127		199,024
	JR三江線代替交通確保運営基金	59,587	59,392	57,043	57,082	45,121	36,462			23	8,600	27,885
	森林環境譲与税基金		6,705	26,388	39,238	60,721	97,355		55,556	63		152,974
	まち・ひと・しごと創生基金			1,000	1,001	17,502	4,513		17,100	3	3,500	18,116
	学校教育施設整備基金						1,463		2,251	1		3,715
	小 計	5,614,312	5,841,351	5,763,356	5,748,198	5,734,034	5,910,106		455,920	5,724	719,191	5,652,559
	一般会計所管基金合計	7,474,550	6,980,736	6,678,174	6,866,837	7,098,690	7,504,515	300,000	527,509	7,749	1,002,401	7,337,372
特 別 会 計 所 管	国民健康保険財政調整基金	1,195,728	717,134	703,876	700,572	705,907	673,281			438	55,483	618,236
	介護給付費準備基金	123,234	112,534	112,621	133,863	253,954	334,126		50,000	217		384,343
	農業集落排水財政調整基金	335	336	336	336	337						
	小型合併処理浄化槽管理運営基金	3,600	3,603	3,606	3,608	3,610						
	下水道事業債減債基金	13,929	13,941	13,952	13,961	13,970						
基 金 合 計		8,811,376	7,828,284	7,512,565	7,719,177	8,076,468	8,511,922	300,000	577,509	8,404	1,057,884	8,339,951

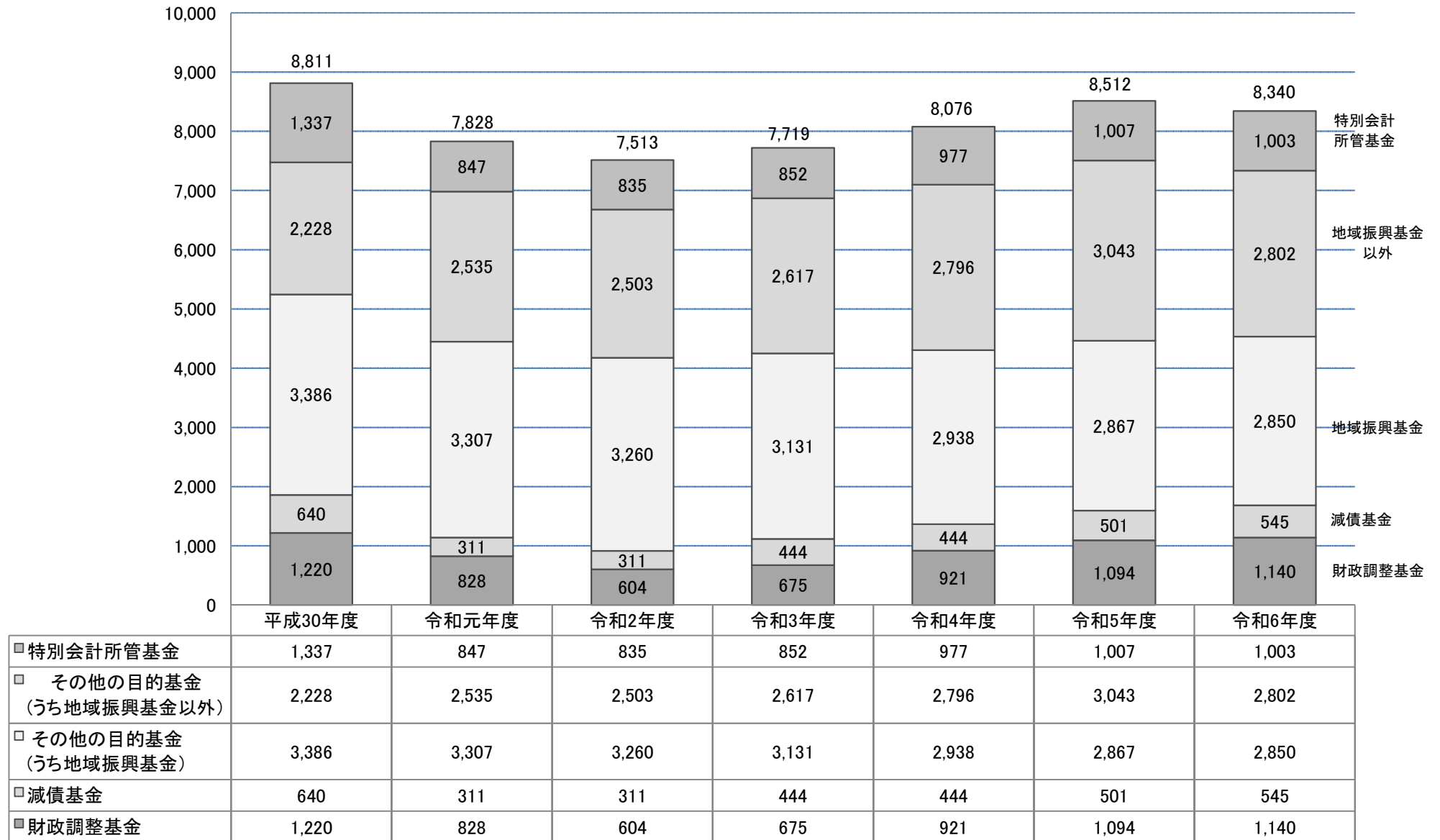
注 年度末の基金残高は、当該年度の出納整理期間中の増減を含んでいるため、決算書の数値とずれが生じる場合がある。

決算書では3月末の数値を計上するが、取崩し、積立については所管会計の当該年度の収支を伴うため、本表では年度末(出納整理期間中の増減を加味)の数値を計上している。

表中の基金合計は決算統計数値としているため、各基金の合計と一致しない。

残高(百万円)

基金残高の推移(見込)



会計別地方債現在高調書

(単位:千円)

会 計 名		令和2年度 末 残 高	令和3年度 末 残 高	令和4年度 末 残 高	令和5年度 末 残 高	令和6年度				令和6年度 末 残 高	前年度 増減比較	摘 要
						繰越起債	現年起債	起債発行額計	元金償還額			
					a	b	c	d=b+c	e	f=a+d-e	f-a	
	一 般 会 計 (通常債分)	23,800,065	22,992,944	21,409,859	20,137,742	230,700	546,300	777,000	2,362,664	18,552,078	△ 1,585,664	普通会計
	一 般 会 計 (特別会計過疎債分)	901,549	774,330	669,905	603,537	4,500	41,100	45,600	116,346	532,791	△ 70,746	普通会計 対象外
	一般会計	24,701,614	23,767,274	22,079,764	20,741,279	235,200	587,400	822,600	2,479,010	19,084,869	△ 1,656,410	
	農業集落排水事業特別会計	1,892,135	1,748,755	1,628,885	1,496,952	令和5年度末までは特別会計。 令和6年度から下水道事業に統合。						
	浄化槽整備事業特別会計	382,153	378,679	389,495	395,800							
	特別会計合計	2,274,288	2,127,434	2,018,380	1,892,752							
一般会計・特別会計 合計		26,975,902	25,894,708	24,098,144	22,634,031	235,200	587,400	822,600	2,479,010	19,084,869	△ 3,549,162	
上記の内 普通会計分		23,800,065	22,992,944	21,409,859	20,137,742	230,700	546,300	777,000	2,362,664	18,552,078	△ 1,585,664	

※決算統計上、一般会計のうち特別会計及び下水道事業に係る過疎債は普通会計に計上されない。

地方公営企業法適用事業

下水道事業	3,696,477	3,453,241	3,224,518	3,018,861	4,700	379,500	384,200	574,479	4,721,334	1,702,473	地方公営企業法 一部適用会計
水道事業	4,090,784	3,893,040	3,704,141	令和4年度末までは地方公営企業法適用会計。 広島県と14の市町で広島県水道広域連合企業団を設立し、令和5年4月1日から水道事業を統合。							

普通会計地方債別現在高及び借入先別現在高

(単位:千円、%)

事業債区分	令和5年度末 現在高	令和6年度末 現在高	構成比	増減額
公共事業等債	151,260	134,113	0.7	△ 17,147
公営住宅建設事業債	37,419	25,790	0.1	△ 11,629
災害復旧事業債	1,462,009	1,573,447	8.5	111,438
教育・福祉施設等整備事業債	126,825	120,016	0.7	△ 6,809
一般単独事業債	6,332,297	5,427,166	29.3	△ 905,131
うち合併特例事業債	(5,639,940)	(4,747,931)	(25.6)	(△ 892,009)
過疎対策事業債	6,077,667	5,913,146	31.9	△ 164,521
国の予算貸付・政府関係機関貸付債	201,327	181,959	1.0	△ 19,368
財源対策債	2,302	1,409	0.0	△ 893
減収補てん債	29,000	27,302	0.2	△ 1,698
減税補てん債	12,124	5,143	0.0	△ 6,981
臨時財政対策債	5,526,612	4,960,766	26.7	△ 565,846
都道府県貸付金	8,400	8,400	0.0	0
その他	170,500	173,421	0.9	2,921
計	20,137,742	18,552,078	100.0	△ 1,585,664

※構成比は単純比較のため、合計が必ずしも100とにならない場合がある。

※事業債区分「国の予算貸付・政府関係機関貸付債」は公有林整備事業債。

(単位:千円、%)

資金区分	令和6年度末 現在高	構成比
財政融資資金	8,490,957	45.8
旧郵政公社資金	31,033	0.2
地方公共団体金融機構資金	2,237,502	12.1
国の予算貸付・政府関係機関貸付	181,959	1.0
市中銀行	3,759,472	20.3
その他の金融機関	2,887,217	15.6
共済等	955,538	5.2
その他(県貸付金)	8,400	0.0
計	18,552,078	100.0

※構成比は単純比較のため、合計が必ずしも100とにならない場合がある。

※資金区分「国の予算貸付・政府関係機関貸付」は日本政策金融公庫。

《参考》特別会計等に係る過疎債

(単位:千円)

事業債区分	令和5年度末	令和6年度末	増減額
過疎対策事業債	603,537	532,791	△ 70,746

※決算統計上、一般会計のうち特別会計及び下水道事業に係る過疎債は普通会計に計上されない。

(決算統計上、償還費は繰入金扱い。ただし、下水道事業は補助費等扱い。)

資 料 編

(1) 令和6年度会計別決算総括表

(単位:円)

会 計 名 称		当初予算額 a	補正予算額 b	前年度繰越明許費等 c	予算現額 d
一 般 会 計		19,314,000,000	1,047,787,000	635,934,000	20,997,721,000
特 別 会 計	国民健康保険特別会計	3,139,018,000	△ 115,069,000		3,023,949,000
	後期高齢者医療特別会計	571,640,000	620,000		572,260,000
	介護保険特別会計	4,392,687,000	217,616,000		4,610,303,000
	コミュニティ・プラント整備事業特別会計	4,975,000	20,000		4,995,000
	特別会計 合計	8,108,320,000	103,187,000	0	8,211,507,000
一般会計・特別会計 合計		27,422,320,000	1,150,974,000	635,934,000	29,209,228,000

(単位:円)

会 計 名 称		歳入決算額 g	歳出決算額 h	形式収支 i=g-h	繰越財源 j
一 般 会 計		20,461,516,027	19,941,781,142	519,734,885	61,527,000
特 別 会 計	国民健康保険特別会計	2,809,554,793	2,768,150,703	41,404,090	
	後期高齢者医療特別会計	568,992,360	555,749,577	13,242,783	
	介護保険特別会計	4,578,287,265	4,355,959,484	222,327,781	
	コミュニティ・プラント整備事業特別会計	4,190,895	4,179,244	11,651	
	特別会計 合計	7,961,025,313	7,684,039,008	276,986,305	0
一般会計・特別会計 合計		28,422,541,340	27,625,820,150	796,721,190	61,527,000

(単位:円) 〔歳入歳出決算額と予算現額の比較〕

(単位:円)

予算現額のうち翌年度繰越明許費等 e	予算現額から翌年度繰越明許費を控除した額 f=d-e	歳入決算額-予算現額=g-d	予算現額に対する歳入率	予算現額-歳出決算額=d-h	予算現額に対する執行率
433,728,000	20,563,993,000	△ 536,204,973	97.4%	1,055,939,858	95.0%
	3,023,949,000	△ 214,394,207	92.9%	255,798,297	91.5%
	572,260,000	△ 3,267,640	99.4%	16,510,423	97.1%
	4,610,303,000	△ 32,015,735	99.3%	254,343,516	94.5%
	4,995,000	△ 804,105	83.9%	815,756	83.7%
0	8,211,507,000	△ 250,481,687	96.9%	527,467,992	93.6%
433,728,000	28,775,500,000	△ 786,686,660	97.3%	1,583,407,850	94.6%

(単位:円) 〔予算現額から翌年度繰越特定財源を除いた歳入歳出決算比較〕

実質収支 k=i-j	歳計剰余金 積立 l	純繰越金 m=k-l	歳入決算額-翌年度繰越特定財源を除いた予算現額=g-(f+j)	繰越特財を除いた予算現額に対する歳入率	翌年度繰越を除いた予算額-歳出決算額=f-h	翌年度繰越を除いた予算額に対する執行率
458,207,885	230,000,000	228,207,885	△ 164,003,973	99.2%	622,211,858	97.0%
41,404,090		41,404,090	△ 214,394,207	92.9%	255,798,297	91.5%
13,242,783		13,242,783	△ 3,267,640	99.4%	16,510,423	97.1%
222,327,781		222,327,781	△ 32,015,735	99.3%	254,343,516	94.5%
11,651		11,651	△ 804,105	83.9%	815,756	83.7%
276,986,305	0	276,986,305	△ 250,481,687	96.9%	527,467,992	93.6%
735,194,190	230,000,000	505,194,190	△ 414,485,660	98.6%	1,149,679,850	96.0%

(2) 令和6年度会計別決算額

(単位:円)

	区 分		歳 入		歳 出		実質収支	
	一 般 会 計		21,487,529,426		20,858,242,812		523,852,614	
令和5年度	特別会計	国民健康保険特別会計	3,043,932,630		2,994,137,787		49,794,843	
		後期高齢者医療特別会計	504,795,279		493,497,340		11,297,939	
		介護保険特別会計	4,666,774,034		4,415,241,760		251,532,274	
		農業集落排水事業特別会計	487,886,336		425,180,170		61,191,166	
		浄化槽整備事業特別会計	348,658,432		335,973,480		12,684,952	
		コミュニティ・プラント整備事業特別会計	4,134,442		4,113,838		20,604	
		特別会計 合計	9,056,181,153		8,668,144,375		386,521,778	
	一般会計・特別会計 合計		30,543,710,579		29,526,387,187		910,374,392	
令和6年度	区 分		歳 入		歳 出		実質収支	
	一 般 会 計		20,461,516,027		19,941,781,142		458,207,885	
	特別会計	国民健康保険特別会計	2,809,554,793		2,768,150,703		41,404,090	
		後期高齢者医療特別会計	568,992,360		555,749,577		13,242,783	
		介護保険特別会計	4,578,287,265		4,355,959,484		222,327,781	
		農業集落排水事業特別会計	令和6年度から下水道事業会計に統合					
		浄化槽整備事業特別会計						
		コミュニティ・プラント整備事業特別会計	4,190,895		4,179,244		11,651	
		特別会計 合計	7,961,025,313		7,684,039,008		276,986,305	
	一般会計・特別会計 合計		28,422,541,340		27,625,820,150		735,194,190	
前年度比較	区 分		増減額	増減率	増減額	増減率	増減額	増減率
	一 般 会 計		△ 1,026,013,399	△4.8%	△ 916,461,670	△4.4%	△ 65,644,729	△12.5%
	特別会計	国民健康保険特別会計	△ 234,377,837	△7.7%	△ 225,987,084	△7.5%	△ 8,390,753	△16.9%
		後期高齢者医療特別会計	64,197,081	12.7%	62,252,237	12.6%	1,944,844	17.2%
		介護保険特別会計	△ 88,486,769	△1.9%	△ 59,282,276	△1.3%	△ 29,204,493	△11.6%
		農業集落排水事業特別会計	△ 487,886,336	△100.0%	△ 425,180,170	△100.0%	△ 61,191,166	△100.0%
		浄化槽整備事業特別会計	△ 348,658,432	△100.0%	△ 335,973,480	△100.0%	△ 12,684,952	△100.0%
		コミュニティ・プラント整備事業特別会計	56,453	1.4%	65,406	1.6%	△ 8,953	△43.5%
		特別会計 合計	△ 1,095,155,840	△12.1%	△ 984,105,367	△11.4%	△ 109,535,473	△28.3%
	一般会計・特別会計 合計		△ 2,121,169,239	△6.9%	△ 1,900,567,037	△6.4%	△ 175,180,202	△19.2%

(3) 令和6年度一般会計歳入歳出決算額

〔歳入〕

(単位:円)

款名称	令和5年度	令和6年度	比 較	増減率
1 市税	3,720,129,582	3,579,750,873	△ 140,378,709	△3.8%
2 地方譲与税	242,899,000	258,406,000	15,507,000	6.4%
3 利子割交付金	1,347,000	1,709,000	362,000	26.9%
4 配当割交付金	17,343,000	25,033,000	7,690,000	44.3%
5 株式等譲渡所得割交付金	19,045,000	32,291,000	13,246,000	69.6%
6 法人事業税交付金	71,692,000	87,080,000	15,388,000	21.5%
7 地方消費税交付金	670,902,000	709,982,000	39,080,000	5.8%
8 ゴルフ場利用税交付金	25,543,510	21,591,200	△ 3,952,310	△15.5%
9 環境性能割交付金	31,384,000	36,352,000	4,968,000	15.8%
10 地方特例交付金	30,125,000	133,116,000	102,991,000	341.9%
11 地方交付税	8,246,349,000	8,208,981,000	△ 37,368,000	△0.5%
12 交通安全対策特別交付金	2,384,000	2,220,000	△ 164,000	△6.9%
13 分担金及び負担金	171,908,493	162,224,891	△ 9,683,602	△5.6%
14 使用料及び手数料	284,788,915	284,039,000	△ 749,915	△0.3%
15 国庫支出金	2,418,976,197	2,680,130,351	261,154,154	10.8%
16 県支出金	1,907,985,259	1,599,928,318	△ 308,056,941	△16.1%
17 財産収入	89,901,262	76,765,677	△ 13,135,585	△14.6%
18 寄附金	509,496,421	163,794,875	△ 345,701,546	△67.9%
19 繰入金	1,003,665,066	1,042,062,509	38,397,443	3.8%
20 繰越金	533,322,557	329,286,614	△ 204,035,943	△38.3%
21 諸収入	196,932,923	204,171,719	7,238,796	3.7%
22 市債	1,288,700,000	822,600,000	△ 466,100,000	△36.2%
23 自動車取得税交付金	2,709,241	0	△ 2,709,241	△100.0%
歳 入 合 計	21,487,529,426	20,461,516,027	△ 1,026,013,399	△4.8%

〔歳出〕

(単位:円)

款名称	令和5年度	令和6年度	比 較	増減率
1 議会費	160,703,259	160,194,726	△ 508,533	△0.3%
2 総務費	3,603,556,593	3,406,095,707	△ 197,460,886	△5.5%
3 民生費	6,185,036,142	6,175,557,038	△ 9,479,104	△0.2%
4 衛生費	1,662,976,137	1,528,001,737	△ 134,974,400	△8.1%
5 労働費	0	0	0	—
6 農林水産業費	1,188,730,739	900,119,688	△ 288,611,051	△24.3%
7 商工費	590,129,639	260,514,916	△ 329,614,723	△55.9%
8 土木費	1,427,688,016	1,965,382,572	537,694,556	37.7%
9 消防費	977,808,840	694,619,830	△ 283,189,010	△29.0%
10 教育費	1,633,565,223	1,870,343,464	236,778,241	14.5%
11 災害復旧費	723,475,131	424,905,200	△ 298,569,931	△41.3%
12 公債費	2,704,573,093	2,556,046,264	△ 148,526,829	△5.5%
歳 出 合 計	20,858,242,812	19,941,781,142	△ 916,461,670	△4.4%

(4) 令和6年度一般会計歳出節別決算額

(単位:円)

節名称	令和5年度	令和6年度	比 較	増減率
1 報酬	473,770,796	506,552,331	32,781,535	6.9%
2 給料	1,420,366,812	1,431,880,298	11,513,486	0.8%
3 職員手当等	1,222,898,757	1,316,606,174	93,707,417	7.7%
4 共済費	528,219,191	547,091,299	18,872,108	3.6%
7 報償費	119,325,874	126,472,315	7,146,441	6.0%
8 旅費	25,685,765	30,275,379	4,589,614	17.9%
9 交際費	500,520	306,964	△ 193,556	△38.7%
10 需用費	480,488,602	636,049,719	155,561,117	32.4%
11 役務費	147,112,375	147,961,709	849,334	0.6%
12 委託料	3,558,001,907	3,571,132,243	13,130,336	0.4%
13 使用料及び賃借料	312,268,041	282,820,332	△ 29,447,709	△9.4%
14 工事請負費	1,626,605,389	1,208,455,362	△ 418,150,027	△25.7%
15 原材料費	7,166,278	14,935,900	7,769,622	108.4%
16 公有財産購入費	1,418,777	310,860	△ 1,107,917	△78.1%
17 備品購入費	48,274,792	97,759,909	49,485,117	102.5%
18 負担金補助及び交付金	3,560,144,699	3,632,011,725	71,867,026	2.0%
19 扶助費	2,083,418,332	2,167,467,617	84,049,285	4.0%
20 貸付金	2,196,000	2,508,000	312,000	14.2%
21 補償補填及び賠償金	1,618,342	2,699,155	1,080,813	66.8%
22 償還金利子及び割引料	2,778,671,288	2,637,062,505	△ 141,608,783	△5.1%
24 積立金	978,967,323	535,257,998	△ 443,709,325	△45.3%
26 公課費	1,626,300	2,200,900	574,600	35.3%
27 繰出金	1,479,496,652	1,043,962,448	△ 435,534,204	△29.4%
合 計	20,858,242,812	19,941,781,142	△ 916,461,670	△4.4%

令和6年度市町村普通会計決算カード

市町村番号 13 コード342149

市町村名					市町村類型		I - 1		6 年 度 交 付 税		I - 1					
安芸高田市					(5年度)				種 地 区 分							
人 口			面 積		人口密度		人口集中地区人口		産業構造（分類不能を除く）							
国 調	02年	26,448 人	(05.10.1)		(02年国調)		(02年国調)		区分		第1次		第2次		第3次	
	27年	29,488 人	537.71 km ²		49人		0 人		就 業 人 口	02年	1,421 人	3,590 人		7,339 人		
	22年	31,487 人	住民	07.1.1	26,041 (1,130) 人		国調			11.5 %	29.1 %		59.4 %			
	02/27	△ 10.3 %	基本	06.1.1	26,611 (1,073) 人			27年			2,025 人	4,196 人		8,348 人		
	27/22	△ 6.3 %		台帳	05.1.1	26,979 (865) 人				国調		13.9 %	28.8 %		57.3 %	
指定団体等の状況					事務の共同処理の状況（一部事務組合名等）											
不交付 農工導入 工―特					広島県市町総合事務組合											
低開発 過 疎 公―防					芸北広域環境施設組合											
辺地数（12） 山 村					広島県後期高齢者医療広域連合											
財政再建 離―島					広島県水道広域連合企業団											
一 般 職 員 等	区 分		令和6年度			令和5年度			増 減							
			職員数	給料月額	1人当たり	職員数	給料月額	1人当たり	職員数	給料月額	1人当たり					
			支給月額			支給月額			支給月額							
			A	B	C(B/A)	D	E	F(E/D)	A－D	B－E	C－F					
	一 般 職 員		人	千円	円	人	千円	円	人	千円	円					
	うち技能労務職		330	112,818	341,873	334	110,792	331,713	△ 4	2,026	10,160					
			0	0	0	0	0	0	0	0	0					
教 育 公 務 員		7	2,858	408,286	8	3,232	404,000	△ 1	△ 374	4,286						
臨 時 職 員		0	0	0	0	0	0	0	0	0						
合 計		337	115,676	343,252	342	114,024	333,404	△ 5	1,652	9,848						
職 員 数 及 び 年 齢	区 分	6年度	5年度	増減	区分	令和6年度 A			令和5年度 B			増減 A－B				
	A	B	A－B	平均年齢		60歳以上	64歳以上	平均年齢	60歳以上	64歳以上	平均年齢	60歳以上	64歳以上			
			人	人	人		64歳未満			64歳未満		64歳未満				
	職員数		337	342	△ 5		歳	人	人	歳	人	人	歳	人	人	
	本 庁		232	235	△ 3	本 庁	41.8	9	0	42.6	8	0	△ 0.8	1	0	
	支所・出張所		71	71	0	支所・出張所	42.6	2	0	43.3	1	0	△ 0.7	1	0	
	施 設		34	36	△ 2	施 設	49.3	1	0	49.4	1	0	△ 0.1	0	0	
						合 計	42.6	12	0	43.5	10	0	△ 0.9	2	0	

※安芸高田市 平成16年3月1日合併（旧高田郡 吉田町、八千代町、美土里町、高宮町、甲田町、向原町）

注 1) 住民基本台帳欄の（ ）書きは、外国人人口を記載。

2) 職員数、給料月額等の数値は、令和6年度は令和7年4月1日時点、令和5年度は令和6年4月1日時点のものである。

市町村名		安芸高田市		類型	I－1							
区 分				令和6年度		令和5年度		増減率	区 分		令和6年度	令和5年度
				千円		千円		%			千円	千円
1 歳 入 総 額 A				20,412,530		21,432,473		△ 4.8	基 準 財 政 需 要 額		11,210,255	11,200,490
2 歳 出 総 額 B				19,892,783		20,803,166		△ 4.4	基 準 財 政 収 入 額		3,833,730	3,780,928
3 歳入歳出差引額 C				519,747		629,307		△ 17.4	標 準 財 政 規 模		12,214,123	12,223,693
4 翌年度へ繰り越すべき財源 D				61,527		105,434		△ 41.6	財 政 力 指 数		0.338	0.329
5 実 質 収 支 (C-D) E				458,220		523,873		△ 12.5	実 質 収 支 比 率		3.8 %	4.3 %
6 単 年 度 収 支 F				△ 65,653		△ 205,424		68.0	経 常 収 支 比 率 L/K		(93.1)	(92.5)
7 積 立 金 G				1,451		133		991.0	注1		92.9 %	92.1 %
8 地方債繰上償還額 H				0		0			公 債 費 負 担 比 率		16.8 %	17.5 %
9 積立金取崩し額 I				254,917		227,266		12.2	積 立 金 現 在 高		(1,684,813)	(1,594,409)
10 実質単年度収支 J (F＋G＋H－I)				△ 319,119		△ 432,557		26.2	注2		7,337,372	7,504,515
									地 方 債 現 在 高		(19,403)	(26,062)
	実 質 赤 字 比 率			－		－			注3		18,552,078	20,137,742
	連 結 実 質 赤 字 比 率			－		－			収 益 事 業 収 入 額			
	実 質 公 債 費 比 率			10.0%		10.9%			債 務 負 担 行 為 額		4,521,289	4,543,080
	将 来 負 担 比 率			55.1%		62.9%			翌年度以降支出予定額		2,510,274	2,560,335
会 計 別 の 状 況												
普通会計分	会 計 名 純計前		令和6年度 A				令和5年度 B				増減 A－B	
			歳 入	歳 出	実 質 収支額	一般会計から の繰入額	歳 入	歳 出	実 質 収支額	一般会計から の繰入額	実 質 収支額	一般会計から の繰入額
	安芸高田市 一 般 会 計		千円 20,461,516	千円 19,941,781	千円 458,208	千円 0	千円 21,487,529	千円 20,858,243	千円 523,852	千円 0	千円 △ 65,644	千円 0
	コミュニティ・プラント 整備事業特別会計		4,191	4,179	12	2,020	4,134	4,113	21	2,480	△ 9	△ 460
公営事業会計分	事 業 名		令和6年度 A				令和5年度 B				増減 A－B	
			法適用		収支額	普通会計か らの繰入額	収支額	普通会計か らの繰入額	収支額	普通会計か らの繰入額		
	有	無										
	下水道事業(一部法適)		○		千円 202,054	千円 855,944	千円 104,791	千円 433,360	千円 97,263	千円 422,584		
	国民健康保険事業			○	41,404	236,527	49,795	238,852	△ 8,391	△ 2,325		
	後期高齢者医療事業			○	13,242	138,582	11,298	128,681	1,944	9,901		
	介護保険事業			○	222,328	666,834	251,532	678,510	△ 29,204	△ 11,676		
	農業集落排水事業			○	下水道事業へ統合		62,706	278,513	△ 62,706	△ 278,513		
浄化槽整備事業			○	12,685			152,460	△ 12,685	△ 152,460			

注 1) 経常収支比率欄の()書は、臨時財政対策債発行可能額を経常一般財源から除いた場合の数値を記載。
2) 積立金現在高欄の()書きは、財政調整基金及び減債基金の残高を記載。
3) 地方債現在高欄の()書きは、利率5%を超える地方債現在高を記載。

歳 入					安芸高田市							
区 分		令和6年度				令和5年度				増減率 A/B	備 考 決算増減額	
		決算額		経常一般財源		決算額		経常一般財源				
		A	構成比	K	構成比	B	構成比	K	構成比			
		千円	%	千円	%	千円	%	千円	%	%		
地 方 税		3,579,751	17.5	3,579,751	29.2	3,720,130	17.4	3,720,130	30.3	△ 3.8	△ 140,379	
地 方 譲 与 税		258,406	1.3	258,406	2.1	242,899	1.1	242,899	2.0	6.4	15,507	
利子割交付金		1,709	0.0	1,709	0.0	1,347	0.0	1,347	0.0	26.9	362	
配当割交付金		25,033	0.1	25,033	0.2	17,343	0.1	17,343	0.1	44.3	7,690	
株式等譲渡所得割交付金		32,291	0.2	32,291	0.3	19,045	0.1	19,045	0.2	69.6	13,246	
地方消費税交付金		709,982	3.5	709,982	5.8	670,902	3.1	670,902	5.5	5.8	39,080	
ゴルフ場利用税交付金		21,591	0.1	21,591	0.2	25,544	0.1	25,544	0.2	△ 15.5	△ 3,953	
自動車・軽油交付金		0	0.0	0	0.0	2,709	0.0	2,709	0.0	△ 100.0	△ 2,709	
自動車税環境性能割交付金		36,352	0.2	36,352	0.3	31,384	0.1	31,384	0.3	15.8	4,968	
法人事業税交付金		87,080	0.4	87,080	0.7	71,692	0.3	71,692	0.6	21.5	15,388	
地方特例交付金		133,116	0.7	133,116	1.1	30,125	0.1	30,125	0.2	341.9	102,991	
地方交付税		8,208,981	40.2	7,376,525	60.1	8,246,349	38.5	7,419,562	60.5	△ 0.5	△ 37,368	
普通		7,376,525	36.1	7,376,525	60.1	7,419,562	34.6	7,419,562	60.5	△ 0.6	△ 43,037	
特別		832,456	4.1	0	0.0	826,787	3.9	0	0.0	0.7	5,669	
小 計		13,094,292	64.2	12,261,836	99.9	13,079,469	60.9	12,252,682	99.9	0.1	14,823	
交通安全交付金		2,220	0.0	2,220	0.0	2,384	0.0	2,384	0.0	△ 6.9	△ 164	
分担金・負担金		138,872	0.7		0.0	146,846	0.7		0.0	△ 5.4	△ 7,974	
使用料		217,314	1.1		0.0	226,846	1.1		0.0	△ 4.2	△ 9,532	
手数料		85,935	0.4		0.0	78,959	0.4		0.0	8.8	6,976	
国庫支出金		2,558,519	12.5		0.0	2,421,943	11.3		0.0	5.6	136,576	
都道府県支出金		1,600,957	7.8		0.0	1,908,974	8.9		0.0	△ 16.1	△ 308,017	
財産収入		76,766	0.4	11,192	0.1	89,901	0.4	10,426	0.1	△ 14.6	△ 13,135	
寄附金		163,795	0.8		0.0	509,496	2.4		0.0	△ 67.9	△ 345,701	
繰入金		1,042,041	5.1		0.0	1,003,634	4.7		0.0	3.8	38,407	
繰越金		329,307	1.6		0.0	533,353	2.5		0.0	△ 38.3	△ 204,046	
諸収入		325,512	1.6	656	0.0	193,668	0.9	706	0.0	68.1	131,844	
地方債		777,000	3.8	(28,100)	(0.2)	1,237,000	5.8	(58,800)	(0.5)	△ 37.2	△ 460,000	
合 計		20,412,530	100.0	(12,304,004)				(12,324,998)				
		20,412,530		12,275,904	100.0	21,432,473	100.0	12,266,198	100.0	△ 4.8	△ 1,019,943	
市 町 村 税												
区 分		令和6年度				令和5年度		増減率 A/B	適用税率の状況 円			
		決 算 額		基準税額	超過課税分	決 算 額						
		A	構成比	*100/75	収入済分	B	構成比					
市町村 民税	個人分	千円	%	千円	千円	千円	%	%	個人	均等割	3,500	
	法人分	1,021,622	28.5	973,478		1,089,167	29.3	△ 6.2		所得割	標準税率に 対する比率 1.0	
固定資産税		2,008,026	56.1	2,014,445		2,054,710	55.2	△ 2.3	市町村 民税 法人	均等割	円	
軽自動車税		132,934	3.7	139,505		132,603	3.6	0.2			3,000,000	
市町村たばこ税		201,547	5.6	204,279		209,108	5.6	△ 3.6			1,750,000	
鉱産税			0.0	0			0.0				410,000	
特別土地保有税			0.0	0			0.0				400,000	
法定外普通税			0.0	0			0.0				160,000	
旧法による税			0.0	0			0.0			150,000		
目的税		7,006	0.2	0		7,235	0.2	△ 3.2		法人税割	6 /100	
入湯税		7,006	0.2	0		7,235	0.2	△ 3.2	固定資産税	1.4 /100		
事業所税			0.0	0			0.0		徴 収 率			
都市計画税			0.0	0			0.0		市町村 民税	現年課税分	滞納繰越分	合 計
水利地益税			0.0	0			0.0					
共同施設税			0.0	0			0.0					
宅地開発税			0.0	0			0.0					
合 計		3,579,751	100.0	3,584,496	0	3,720,130	100.0	△ 3.8	固定資産税	99.3	12.2	96.7
参 考	国民健康保険税	475,409	13.3			459,869	12.4	3.4	合 計	99.3	14.1	96.8
	国民健康保険料		0.0				0.0		国 保 税	96.9	19.3	87.0

注 1) 地方債の経常一般財源欄の()書きは、減税補てん債及び臨時財政対策債発行可能額を記載。
2) 経常一般財源欄の()書きは、減税補てん債及び臨時財政対策債発行可能額を含めた額を記載。

市 町 村 名		安芸高田市		類型		I - 1													
性 質 別 歳 出																			
区 分		令和6年度					令和5年度					増減率							
		決算額		一般財源等	経常一般財源	経常収 支比率	決算額		一般財源等	経常一般財源	経常収 支比率								
		A	構成比				B	構成比				A/B							
		千円	%	千円	千円	%	千円	%	千円	千円	%								
人 件 費		3,764,242	18.9	3,406,887	3,278,971	(26.7) 26.6	3,608,645	17.3	3,265,302	3,143,910	(25.6) 25.5	4.3							
	うち職員給	2,242,786	11.3	2,013,078	1,959,706	(16.0) 15.9	2,190,936	10.5	1,962,518	1,895,996	(15.5) 15.4	2.4							
扶 助 費		3,332,013	16.7	1,271,621	838,744	(6.8) 6.8	3,187,324	15.3	1,242,481	705,068	(5.7) 5.7	4.5							
公 債 費		2,438,694	12.3	2,431,075	2,431,075	(19.8) 19.8	2,585,567	12.4	2,567,972	2,567,972	(20.9) 20.8	△ 5.7							
内 訳	元利償還金	2,437,874	12.3	2,430,255	2,430,255	(19.8) 19.8	2,585,204	12.4	2,567,609	2,567,609	(20.9) 20.8	△ 5.7							
	一時借入金利子	820	0.0	820	820	(0.0) 0.0	363	0.0	363	363	(0.0) 0.0	125.9							
小 計		9,534,949	47.9	7,109,583	6,548,790	(53.3) 53.2	9,381,536	45.1	7,075,755	6,416,950	(52.3) 52.1	1.6							
物 件 費		3,005,951	15.1	2,294,028	1,987,271	(16.2) 16.2	3,058,225	14.6	2,348,682	1,979,505	(16.1) 16.1	△ 1.7							
維 持 補 修 費		622,792	3.1	433,763	425,415	(3.5) 3.5	513,556	2.4	341,919	325,610	(2.7) 2.6	21.3							
補 助 費 等		2,916,050	14.7	2,442,298	1,240,775	(10.1) 10.1	2,625,832	12.6	1,995,077	1,206,540	(9.8) 9.8	11.1							
繰 出 金		1,510,775	7.6	1,272,046	1,230,837	(10.0) 10.0	1,985,191	9.5	1,725,148	1,417,972	(11.6) 11.5	△ 23.9							
投資及び出資金・貸付金		2,508	0.0	1,843	0	(0.0) 0.0	2,196	0.0	1,773	0	(0.0) 0.0	14.2							
積 立 金		535,258	2.7	192,336	0	(93.1) 92.9	978,967	4.7	317,054	0	(92.5) 92.1	△ 45.3							
前年度繰上充用金			0.0		充当経常一般財源 L			0.0		充当経常一般財源 L									
投 資 的 経 費		1,764,500	8.9	235,930	11,433,088	千円	2,257,663	10.9	239,211	11,346,577	千円	△ 21.8							
うち	うち人件費	657	0.0	0	「一般財源等」 歳入総額 14,501,574 千円 歳入経常一般財源 12,275,904 減税、臨財債除 歳入経常一般財源 12,304,004 減税、臨財債含		2,297	0.0	0	「一般財源等」 歳入総額 14,673,926 千円 歳入経常一般財源 12,266,198 減税、臨財債除		△ 71.4							
	普通建設事業費	1,339,595	6.7	220,286			1,534,188	7.3	156,724			△ 12.7							
	うち 補助	491,841	2.5	55,576			350,941	1.7	27,649			40.1							
		単独	783,485	3.9			154,487	1,110,128	5.3			120,055	△ 29.4						
	災害復旧事業費	424,905	2.1	15,644			723,475	3.5	82,487			△ 41.3							
	失業対策事業費		0.0					0.0											
	合 計	19,892,783	100.0	13,981,827			20,803,166	100.0	14,044,619			△ 4.4							
目 的 別 歳 出										備 考									
区 分		令和6年度			令和5年度			増減率											
		決算額		一般財源等	決算額		一般財源等												
		A	構成比		B	構成比	A/B												
		千円	%	千円	千円	%	千円	%											
議 会 費		159,624	0.8	159,622	160,262	0.8	160,256	△ 0.4											
総 務 費		3,132,755	15.7	2,252,130	3,355,825	16.1	2,421,246	△ 6.6											
民 生 費		6,178,778	31.1	3,557,734	6,182,497	29.7	3,618,329	△ 0.1											
衛 生 費		1,784,807	9.0	1,465,038	1,710,510	8.2	1,340,104	4.3											
労 働 費		21,279	0.1	21,279	23,002	0.1	23,002	△ 7.5											
農 林 水 産 業 費		1,229,435	6.2	837,862	1,217,870	5.9	750,448	0.9											
商 工 費		408,030	2.1	329,661	737,794	3.6	357,301	△ 44.7											
土 木 費		1,526,725	7.7	928,732	1,470,784	7.1	894,838	3.8											
消 防 費		718,606	3.6	627,561	1,002,617	4.8	593,224	△ 28.3											
教 育 費		1,869,145	9.4	1,355,489	1,632,963	7.8	1,235,412	14.5											
災 害 復 旧 費		424,905	2.1	15,644	723,475	3.5	82,487	△ 41.3											
公 債 費		2,438,694	12.3	2,431,075	2,585,567	12.4	2,567,972	△ 5.7											
諸 支 出 金			0.0			0.0		0.0											
前年度繰上充用金			0.0			0.0		0.0											
合 計		19,892,783	100.0	13,981,827	20,803,166	100.0	14,044,619												

注 1) 経常収支比率欄の()書きは、減税補てん債及び臨時財政対策債発行可能額を経常一般財源から除いた数値を記載。

類似市等の普通会計財政状況(令和6年度決算数値)

(単位:千円)

区 分		安芸高田市	大竹市	竹原市	江田島市	三次市	庄原市
住基登録人口(R7.1.1現在)		26,041人	25,353人	22,557人	20,690人	47,904人	31,198人
面 積		537.71km ²	78.66km ²	118.23km ²	100.65km ²	778.18km ²	1,246.49km ²
決算 総括	歳入総額	20,412,530	18,312,738	17,283,628	15,666,810	41,197,309	33,812,249
	歳出総額	19,892,783	17,983,302	16,800,719	15,390,789	40,060,196	33,224,125
	差引額	519,747	329,436	482,909	276,021	1,137,113	588,124
	翌年度繰越財源	61,527	146,924	105,479	67,925	336,463	147,612
	実質収支	458,220	182,512	377,430	208,096	800,650	440,512
	単年度収支	△ 65,653	△ 97,839	△ 142,867	169,721	△ 78,377	△ 41,820
	財調基金積立金	1,451	1,171	26,484	30,186	90,523	493
	繰上償還(任意分)	-	-	-	-	495,167	-
	財政調整基金取崩額	254,917	-	278,000	-	-	400,000
	実質単年度収支	△ 319,119	△ 96,668	△ 394,383	199,907	507,313	△ 441,327
財政 指標	基準財政収入額	3,833,730	4,731,519	4,423,699	2,537,004	7,066,321	4,485,952
	基準財政需要額	11,210,255	6,701,146	6,816,562	8,290,096	20,660,445	17,110,590
	標準財政規模	12,214,123	8,079,825	8,097,634	8,971,337	22,504,584	18,168,846
	(うち臨時財政対策債発行可能額)	28,118	40,116	35,949	19,316	54,319	37,166
	財政力指数	0.338	0.72	0.68	0.30	0.341	0.26
	実質収支比率	3.8%	2.3%	4.7%	2.3%	3.6%	2.4%
	経常収支比率	92.9%	96.6%	94.5%	98.6%	98.1%	97.7%
	実質公債費比率	10.0%	12.7%	8.6%	7.9%	7.2%	11.5%
	自主財源比率	29.2%	53.7%	37.5%	26.5%	26.4%	18.3%
基金	基金残高	7,337,372	8,151,644	4,283,937	9,886,925	17,380,564	7,885,985
	うち財政調整基金	1,140,176	1,285,904	2,358,769	4,856,300	3,251,592	4,529,183
	うち減債基金	544,637	664,864	475,867	1,126,590	522,523	127,727
地方債	地方債現在高	18,552,078	21,809,478	17,880,072	16,413,774	43,768,559	34,844,844
	地方債残高比率	151.9%	269.9%	220.8%	183.0%	194.5%	191.8%
主な 歳入	地方税	3,579,751	5,429,933	4,794,867	2,426,236	6,975,800	3,707,198
	普通交付税	7,376,525	1,969,627	2,392,862	5,767,264	13,620,512	12,624,638
	特別交付税	832,456	443,482	555,845	785,339	2,356,705	2,190,911
	繰入金	1,042,041	884,924	355,777	353,296	773,069	974,506
	地方債	777,000	1,383,400	3,636,200	1,300,616	4,668,419	3,869,466
主な 歳出	人件費	3,764,242	2,882,901	2,646,865	3,553,858	5,600,946	4,178,013
	うち職員給与	2,242,786	1,740,199	1,426,664	2,173,125	3,437,870	2,696,189
	普通会計職員数	337人	268人	228人	327人	459人	416人
	扶助費	3,332,013	2,789,372	2,617,926	1,997,548	5,633,518	4,321,480
	公債費	2,438,694	1,716,701	1,241,760	1,907,267	5,453,244	4,507,987
	物件費	3,005,951	2,994,006	2,055,582	2,169,805	5,371,189	4,339,805
	維持補修費	622,792	242,906	172,527	293,477	899,268	786,194
	補助費等	2,916,050	1,226,513	1,750,734	1,445,164	7,063,831	5,145,785
	繰出金	1,510,775	1,451,734	1,436,829	1,555,216	2,572,196	2,130,710
	普通建設事業費	1,339,595	2,657,219	4,226,993	2,010,961	5,839,547	4,372,312

安芸高田市と人口類似市：大竹市(単独市制)

：竹原市(単独市制)

：江田島市(平成16年11月1日合併)

安芸高田市の近隣市

：三次市(平成16年4月1日合併)

：庄原市(平成17年3月31日合併)

主 な 財 政 用 語

決算に関するもの

決 算

一会計年度の歳入歳出予算の執行の実績について作成される、確定的な計数表をいう。決算は会計年度終了後において作成され、監査委員の審査に付した後、議会の認定を受ける。決算により歳入歳出予算に対する実際の収支状況が明らかにされ、予算の適正な執行の有無が確認される。

形式収支

形式収支は、出納閉鎖期日における当該年度中に収入された現金と支出された現金の差額を表示したもの。

＊形式収支＝歳入決算額－歳出決算額

翌年度繰越財源

歳入歳出差引額のうち明許繰越等、翌年度に繰り越された事業に充当しなければならない一般財源をいう。

実質収支

歳入決算額から歳出決算額を差し引いた差額を形式収支という。形式収支からさらに、翌年度に繰り越すべき財源を差し引いたものを実質収支という。市町村の決算において、実質収支が赤字であるか黒字であるかは、財政状況を判断する重要な基準となる。

単年度収支

当該年度の実質収支から前年度の実質収支を差し引いた額で、当該年度のみの実質的な収入と支出の差額を意味する。

＊単年度収支＝

当該年度の実質収支－前年度の実質収支

区 分	前年度の実質収支が黒字	前年度の実質収支が赤字
単年度収支が黒字	新たな剰余が生じた	過去の赤字の解消
〃 赤字	過去の剰余金に依存	赤字額の増加

実質単年度収支

単年度収支に当該年度に措置された黒字要素(財政調整基金積立金、繰上償還)又は赤字要素(積立金取崩し)を除外した場合、単年度収支が実質的にどのようなものか検証するもの。

＊実質単年度収支＝

単年度収支＋財政調整基金積立額＋
地方債繰上償還額－財政調整基金取崩額

実質収支比率

実質収支の額の適否を判断する指標であり、標準財政規模に対する実質収支額の割合で示されます。実質収支が黒字の場合は正の数、赤字の場合は負の数で表される。一般的には 3%～5%程度が望ましいとされている。

＊実質収支比率＝実質収支額÷標準財政規模×100

基準財政収入額

普通交付税の算定に用いるもので、各地方公共団体が標準的な状態において徴収が見込まれる税収入、譲与税、交付金等を一定の方法により算出した額。

基準財政需要額

普通交付税の算定の基礎となるもので、各地方公共団体が合理的かつ妥当な水準における行政を行い、又は施設を維持するための財政需要を一定の方法により合理的に算出した額。

標準財政規模

地方公共団体の一般財源の標準財政規模を示す数値。

＊標準財政規模＝（基準財政収入額－地方譲与税－交通安全対策特別交付金－税源移譲相当額の25％）×100÷75＋地方譲与税＋交通安全対策特別交付金＋普通交付税＋臨時財政対策債発行可能額

《参考》

普通交付税	地方譲与 税・交通 安全対策 特別交付 金等	標準税収入額	
		地方税(交付金を含む)	
		市町村 75%分	市町村 25%分
		← 基準財政収入額 →	
← 基準		財政需要額 →	
← 基準		財政規模 →	

財政力指数

地方公共団体の財政力を示す指標として用いられ、1に近くあるいは1を超えるほど財源に余裕があるといえる。

経常収支比率

各市町村の財政構造の弾力性を測定する比率で、人件費、扶助費、公債費等の義務的性格の経常経費に、地方税、地方交付税、地方譲与税を中心とする経常的な収入（一般財源）がどの程度充当されているかを見ることで、その自治体の財政構造の弾力性を判断するための指標として用いられている。一般的判断として、都市は75%、町村では70%程度が妥当とされていて、それぞれ90%を超える団体は、その原因を究明し、経常経費の抑制に留意しなければならない。

実質公債費比率

地方債元利償還金（繰上償還等を除く）や公営企業債に対する繰出金などの公債費に準ずるものを含めた実質的な公債費相当額から、これに充当された一般財源のうち地方交付税が措置されたものを除いたものが、標準財政規模及び臨時財政対策債発行可能額の合計額（地方交付税措置分を除く）に対してどの程度の割合になっているかを見

るもの。起債に協議を要する団体と許可を要する団体の判定に用いられるものであり、この比率が18%以上の団体は起債に当たり許可が必要になり、25%以上の団体については、一定の地方債の起債が制限され、35%以上の団体については、さらにその制限の度合いが高まる。

また、地方公共団体の財政の健全化に関する法律において、健全化判断比率の一つとして位置付けられており、早期健全化基準は25%、財政再生基準は35%とされている。

歳入に関するもの

一般財源

使途が指定されていない収入をいう。市町村の予算では、一般的に、市町村税、地方譲与税、利子割交付金、配当割交付金、株式等譲渡所得割交付金、法人事業税交付金、地方消費税交付金、ゴルフ場利用税交付金、環境性能割交付金、地方特例交付金、地方交付税、交通安全対策特別交付金、繰越金、財政調整基金繰入金等をいう。また、近年の地方財政には、地方債（臨時財政対策債、減収補てん債）にも一般財源がある。

一方、国庫支出金、地方債等使途が指定されている収入は特定財源という。

基金

一般に、市町村が条例の定めにより、特定の目的のために、積み立てた資金をいう。基金には、特定の目的のために設置されるものと、特定の目的のために定額を運用するものがある。

市町村税

市町村が課税徴収する税金をいう。

地方譲与税

徴収の利便性などの問題から、一旦国税として徴収されその後、市町村に譲与される税をいう。自動車重量譲与税や地方揮発油譲与税などがある。

自動車重量譲与税

自動車重量税は、自動車の重量に応じて、庫出し又は車検時に課税される。この収入額の 3 分の 1(当分の間は 1000 分の 407) が市町村に譲与される。算定方法は、市町村道の延長が 2 分の 1、面積が 2 分の 1 に按分された額となっている。

地方揮発油譲与税

地方揮発油税が国により徴収され、市町村に配分される。配分額は徴収金の 100 分の 42 が市町村に譲与される。算定方法は、市町村道の延長が 2 分の 1、面積が 2 分の 1 に按分された額となっている。

森林環境譲与税

国内に住所を有する個人に対して課税される森林環境譲与税(国税)の収入額に相当する額の 10 分の 9 を、客観的な譲与基準(私有林人工林面積 55%、林業就業者数 20%、人口 25%)により、市町村等に譲与される。

利子割交付金

県に納付された県民税利子割のうち個人に対する部分の 59.4% が市町村に交付される。交付額はその市町村の個人の県民税の額を基準に配分される。

配当割交付金・株式等譲渡所得割交付金

県に納付された県民税配当割、県民税株式等譲渡割の 59.4% が市町村に交付される。交付額はその市町村の個人の県民税の額を基準に配分される。

地方消費税交付金

一般的に標準税率 10% の消費税は、消費税(国税)の 7.8% 分と地方消費税(都道府県税)の 2.2% 分を合計したものを、軽減税率 8% の消費税は、消費税(国税)の 6.24% 分と地方消費税(都道府県税)の 1.76% 分を合計したものを指している。

地方消費税(都道府県税)の税収の 2 分の 1 は、県が人口及び従業者数で按分し、市町村に交付される。

ゴルフ場利用税交付金

県に納付されたゴルフ場利用税の 70% が、ゴルフ場所在の市町村に交付される。

自動車取得税交付金

県に納付された自動車取得税の 66.5% が市町村に交付される。交付額は、市町村道の延長や面積を基準として配分される。

(令和元年 9 月まで)

環境性能割交付金

県に納付された環境性能割に 95% を乗じて得た額の 100 分の 47(令和 4 年度からは 100 分の 43)に相当する額が市町村に交付される。交付額は、市町村道の延長や面積を基準として配分される。

法人事業税交付金

県に納付された法人事業税の 7.7% を、従業員数(令和 3 年度は 2/3 法人税割額、1/3 従業員数割)で按分し、市町村に交付される。

地方特例交付金

個人住民税における住宅借入金等特別税額控除の実施に伴う地方公共団体の減収を補填するため、各地方公共団体の住宅借入金等特別税額控除見込額を基礎として算定された額となっている。

また、消費税引上げに伴う需要の平準化のための自動車税環境性能割及び軽自動車税環境性能割の臨時的軽減による地方公共団体の減収を補填するため、それぞれ減収見込額を基礎として算定された額となっている。

地方交付税

市町村によって生じている税収入の格差を是正し、一定の行政水準を保つために国から交付される交付金をいう。所得税、法人税、酒税、消費税が原資となっている。

交付税には、市町村が標準的な行政を行う財源を保障するために交付される「普通交付税」と各市町村の特殊事情によって生じた財政需要を補うための「特別交付税」がある。

交通安全対策特別交付金

市町村が道路交通安全施設の整備を行なう経費にあてるため、交通反則金を市町村の交通事故発生件数等を基準に配分し交付される。

分担金及び負担金

市町村が一部や特定の者に対し特に利益のある事務事業を行なう場合に、その必要な費用に充てるため、利益を受ける者から徴収するお金をいう。

一方、負担金も一定の事務事業について特別の利害関係がある人から、その事業に必要な経費を、受益の受ける程度に応じて市町村が課する金銭的な給付を言い、両者はよく似た性格をもっている。

使用料及び手数料

使用料は、市町村が所有し又は管理している施設を利用する時に、市町村に納付されるお金をいう。また、納付された使用料はその施設を維持、管理するための経費の財源となる。

手数料は、市町村が特定の人のために行なう行政サービスの対価として市町村に納付されるお金をいう。納付された手数料はその行政サービスを行なうための経費の財源となる。

使用料も手数料も、市町村が徴収するためには、法令や条例に定める必要がある。

国庫支出金・県支出金

市町村が行なう事務事業に、何らかの必要性に基づいて、国（県）が経費の一部又は全部として市町村に給付される収入をいう。また、その性格により、負担金、補助金、委託金に区分される。

財産収入

市町村が所有する財産等を貸し付ける事によって生じる対価や基金の運用利息等の財産運用収入と、市町村の財産を譲渡すること等により生じる財産売却収入がある。

寄附金

市町村に対する金銭の無償譲渡のことをいう。寄附金の使途を指定しない一般寄附金と使途を指定した指定寄附金がある。

繰入金

一般会計、特別会計、企業会計、基金の間において相互に資金運用の方法として、各会計等の経理する資金を他の会計で受け入れるときの収入をいう。

繰越金

前年度の決算で生じた余剰金を、次年度の歳入に編入するときの収入をいう。

諸収入

地方債のほか、前記した歳入に区分された以外の収入を計上する科目。普通預金の利子や貸付金に対する償還金等様々な諸収入がある。

地方債

市町村が社会資本の整備等を行なうために必要な財源を調達するための債務のことをいう。また、近年は国や地方公共団体の財源不足や、減税による財源の減少を補てんするために地方債を発行することもある。

歳出に関するもの

目的別歳出予算

市町村の歳出予算を、行政目的によって分類したもの。目的別予算では、市町村の各部局の大まかな予算の比重を知ることができる。また、予算を議会において審議する場合等に大きな意義がある。

議会費

議会の活動に必要とする経費が計上されている。主としては議員の報酬や議会や委員会の運営経費など。

総務費

一般的な管理事務に関する経費、企画調整事務、財政・財務管理に要する経費のほか、電算処理に関する経費、市町村税の賦課・戸籍住民基本台帳・選挙・統計調査に要する経費等が計上されている。

民生費

安定した社会生活をするために必要な経費。社会福祉、障害者福祉、高齢者、児童福祉等の経費が計上されている。

衛生費

健康にして衛生的な生活環境を保持するための経費。保健事業に関する経費、環境対策に関する経費等が計上されている。

農林水産業費

農業、林業、水産業の振興に要する経費や治山事業を行なうための経費が計上されている。

商工費

市町村の観光PRや観光イベント、商店街の活性化等の経費のほか、商工業の振興に関する経費が計上されている。

土木費

市町村道改良や河川の整備や維持管理、公営住宅の建設、維持のための経費のほか、都市計画に関する経費、下水道事業特別会計への繰出金等が計上されている。

消防費

常備消防及び消防団の活動に関する経費や消防車、防火水槽等防火施設の整備などのほか、地域の防災のための経費が計上されている。

教育費

教育委員会、幼稚園、小中学校等、教育に関する経費が計上されている。また、社会教育費には、生涯学習活動に要する経費のほか、運動公園、博物館の管理運営経費等が計上されている。

災害復旧費

災害によって生じた被害を復旧するために要する経費が計上されている。道路等の公共土木施設、農地や山林等の農林水産業施設に対する復旧費が主である。

公債費

借り入れた地方債や一時借入金の元金や利子などの償還金が計上されている。

予備費

災害等予算外の緊急な支出や予算超過の支出に充てるために設ける科目。通常は議会を招集して補正予算を編成するので、多額な予備費を充当して支出することはあまりない。

性質別経費

市町村の経費を、その経済的性質を基準として分類したもの。性質別に分類することは、市町村の財政の体質を分析するうえで意義がある。分析の結果から財政運営の指針を見つけ出すことができる。

義務的経費

市町村の歳出のうち、その支出が義務づけられている経費をいう。一般的には、人件費、扶助費、公債費の三つの科目をいう。広い意味では、物件費、維持補修費、補助費も加えられる。

投資的経費

その支出の効果が資本の形成に向けられ、施設等が将来に残るものに対して支出される経費(普通建設事業費、災害復旧事業費)をいう。

人件費

市町村の職員の給料や社会保険料のほか、報酬として支払われる一切の経費をいう。ただし、道路の整備事業等の普通建設事業に携わる職員の人件費については、普通建設事業費に区分される。

物件費

人件費、扶助費、補助費、普通建設事業費等以外の経費の総称をいう。具体的な例をあげると、賃金、旅費、需用費（消耗品、食糧費等）、役務費（通信運搬費、手数料等）、備品購入費、使用料、委託料等がある。

維持補修費

市町村が管理する公共施設（道路等）の効用を保全するための経費。建物の大規模な改修等は普通建設事業費に区分される。

扶助費

市町村が各種の法令（老人福祉法等）や条例によって、お金や物品を被扶助者に提供する経費をいう。

補助費等

補助費に区分される経費は、その支出の目的、根拠、対象等によって多種多様である。主な経費としては、報奨金、謝礼金、負担金、補助金などがある。

普通建設事業費

道路、橋りょう、河川等の公共土木関係施設や消防施設、学校等の文教施設、公民館、公営住宅等の公共用施設の新設、増設、改良事業や不動産取得等の投資的な事業費をいう。

災害復旧事業費

風雨、地震等その他の災害を受けた施設を原形に復旧するための事業費をいう。

公債費

市町村が借り入れた地方債の元利償還金及び一時借入金の償還利子をいう。

積立金

基金等に積み立てる経費をいう。

投資及び出資金

財団法人などに対する出捐金や公営企業の資本を整備するための出資的な繰出金などがある。

繰出金

一般会計と特別会計、又は特別会計間相互において支出される経費をいう。